

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）																
1	評価基準 2	<p>② IR区域内の建築物の配置</p> <p>2. 具体的な配置計画</p> <p>(2) ゾーン毎の配置計画</p> <p>a. 「関西ゲートウェイ」ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 送客機能やショーケース機能を有する「関西ツーリズムセンター」、宿泊、飲食・物販、カジノ・劇場等のエンターテイメント等の機能を有する「MGM大阪」、宿泊、飲食機能を有する「MUSUBIホテル」を配置する。 <p>b. 「イノベーション」ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> MICE施設を、宿泊やエンターテイメントの中心であるMGM大阪との連携及び夢洲2期エリアへの機能的なつながり等を踏まえて配置する。 <p>c. 「ウォーターフロント」ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 水辺空間に関西アート&カルチャーミュージアム、フェリーターミナルを配置し、その両脇に海辺景観を活かしたオープンスペースとして公園を配置する。 <p>d. 「結びの庭」ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 「結びの庭」内に商業店舗等の小規模建築物を配置するほか、利用者でにぎわうオープンスペースとして快適で良好な屋外環境を確保することで、動線の交差、視線の交錯、機能の浸出を生み出し、ゾーンを超えた有機的な施設間連携を増大させる計画とする。 	<p>② IR区域内の建築物の配置</p> <p>2. 具体的な配置計画</p> <p>(2) ゾーン毎の配置計画</p> <p>a. 「関西ゲートウェイ」ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 送客機能やショーケース機能を有する「関西ツーリズムセンター」、宿泊、飲食・物販、カジノ・劇場等のエンターテイメント等の機能を有する「MGM大阪」、宿泊、飲食機能を有する「MUSUBIホテル」を配置する。 <p>b. 「イノベーション」ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> MICE施設を、宿泊やエンターテイメントの中心であるMGM大阪との連携及び夢洲2期エリアへの機能的なつながり等を踏まえて配置する。 <p>c. 「ウォーターフロント」ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 水辺空間に関西アート&カルチャーミュージアム、フェリーターミナルを配置し、その両脇に海辺景観を活かしたオープンスペースとして公園を配置する。 <p>d. 「結びの庭」ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 「結びの庭」内に商業店舗等の小規模建築物を配置するほか、利用者でにぎわうオープンスペースとして快適で良好な屋外環境を確保することで、動線の交差、視線の交錯、機能の浸出を生み出し、ゾーンを超えた有機的な施設間連携を増大させる計画とする。 																
2	評価基準 3	<p>① IR区域の面積</p> <p>IR区域を整備しようとする区域の敷地面積は下表のとおり。</p> <p style="text-align: center;">【図表1：IR区域の面積】</p> <table border="1" data-bbox="486 1440 1374 1619"> <thead> <tr> <th>敷地名</th> <th>敷地面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷地A</td> <td>392,370㎡</td> </tr> <tr> <td>敷地B</td> <td>100,310㎡</td> </tr> <tr> <td>IR区域全体の敷地面積（合計）</td> <td>492,680㎡</td> </tr> </tbody> </table>	敷地名	敷地面積	敷地A	392,370㎡	敷地B	100,310㎡	IR区域全体の敷地面積（合計）	492,680㎡	<p>① IR区域の面積</p> <p>IR区域を整備しようとする区域の敷地面積は下表のとおり。</p> <p style="text-align: center;">【図表1：IR区域の面積】</p> <table border="1" data-bbox="1736 1440 2623 1619"> <thead> <tr> <th>敷地名</th> <th>敷地面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷地A</td> <td>392,426㎡</td> </tr> <tr> <td>敷地B</td> <td>99,935㎡</td> </tr> <tr> <td>IR区域全体の敷地面積（合計）</td> <td>492,361㎡</td> </tr> </tbody> </table>	敷地名	敷地面積	敷地A	392,426㎡	敷地B	99,935㎡	IR区域全体の敷地面積（合計）	492,361㎡
敷地名	敷地面積																		
敷地A	392,370㎡																		
敷地B	100,310㎡																		
IR区域全体の敷地面積（合計）	492,680㎡																		
敷地名	敷地面積																		
敷地A	392,426㎡																		
敷地B	99,935㎡																		
IR区域全体の敷地面積（合計）	492,361㎡																		

NO.	様式	区域整備計画 (2025年5月9日)	区域整備計画 (2025年9月12日)																																																																																																																																																												
3	評価基準 3	<p data-bbox="311 241 578 273">② IR施設の床面積</p> <p data-bbox="371 304 1380 325">IR施設を構成する各施設の計画床面積及びオープンスペースの面積は下表のとおり。</p> <p data-bbox="786 357 1142 388">【図表2：IR施設の床面積】</p> <table border="1" data-bbox="365 390 1495 1455"> <thead> <tr> <th>IR整備法第2条の区分</th> <th>施設名称</th> <th>延床面積</th> <th>暫定計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際会議場施設 (1項1号)</td> <td>国際会議場施設</td> <td>33,100～40,600㎡</td> <td>36,875㎡</td> </tr> <tr> <td>展示等施設 (1項2号)</td> <td>展示等施設</td> <td>28,300～34,700㎡</td> <td>31,455㎡</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">魅力増進施設 (1項3号)</td> <td>関西アート&カルチャーミュージアム</td> <td>790～1,200㎡</td> <td>887㎡</td> </tr> <tr> <td>ジャパン・フードパビリオン</td> <td>7,300～9,100㎡</td> <td>8,220㎡</td> </tr> <tr> <td>ガーデンシアター</td> <td>910～1,400㎡</td> <td>1,018㎡</td> </tr> <tr> <td>関西ジャパンハウス</td> <td>450～660㎡</td> <td>505㎡</td> </tr> <tr> <td>三道体験スタジオ</td> <td>460～680㎡</td> <td>520㎡</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">送客施設 (1項4号)</td> <td>関西ツーリズムセンター</td> <td>680～990㎡</td> <td>758㎡</td> </tr> <tr> <td>バスターミナル</td> <td>10,100～12,500㎡</td> <td>11,284㎡</td> </tr> <tr> <td>フェリーターミナル</td> <td>1,100～1,800㎡</td> <td>1,331㎡</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">宿泊施設 (1項5号)</td> <td>MGM大阪</td> <td>209,800～256,600㎡</td> <td>233,189㎡</td> </tr> <tr> <td>MGM大阪ヴィラ</td> <td>4,900～6,100㎡</td> <td>5,529㎡</td> </tr> <tr> <td>MUSUBIホテル</td> <td>45,600～55,800㎡</td> <td>50,719㎡</td> </tr> <tr> <td>カジノ施設 (10項)</td> <td>カジノ施設</td> <td>58,600～71,700㎡</td> <td>65,166㎡</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">来訪及び滞在寄与施設 (1項6号)</td> <td>夢洲シアター</td> <td>12,000～14,700㎡</td> <td>13,338㎡</td> </tr> <tr> <td>Luxuryリテール</td> <td>44,500～54,500㎡</td> <td>49,472㎡</td> </tr> <tr> <td>その他リテール</td> <td>370～540㎡</td> <td>415㎡</td> </tr> <tr> <td>飲食施設</td> <td>11,200～13,800㎡</td> <td>12,478㎡</td> </tr> <tr> <td>共通バックヤード</td> <td>98,200～153,500㎡</td> <td>125,866㎡</td> </tr> <tr> <td>駐車場</td> <td>84,800～137,100㎡</td> <td>110,989㎡</td> </tr> <tr> <td>エネルギーセンター</td> <td>9,400～11,600㎡</td> <td>10,511㎡</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>731,000～848,000㎡</td> <td>770,525㎡</td> </tr> </tbody> </table>	IR整備法第2条の区分	施設名称	延床面積	暫定計画値	国際会議場施設 (1項1号)	国際会議場施設	33,100～40,600㎡	36,875㎡	展示等施設 (1項2号)	展示等施設	28,300～34,700㎡	31,455㎡	魅力増進施設 (1項3号)	関西アート&カルチャーミュージアム	790～1,200㎡	887㎡	ジャパン・フードパビリオン	7,300～9,100㎡	8,220㎡	ガーデンシアター	910～1,400㎡	1,018㎡	関西ジャパンハウス	450～660㎡	505㎡	三道体験スタジオ	460～680㎡	520㎡	送客施設 (1項4号)	関西ツーリズムセンター	680～990㎡	758㎡	バスターミナル	10,100～12,500㎡	11,284㎡	フェリーターミナル	1,100～1,800㎡	1,331㎡	宿泊施設 (1項5号)	MGM大阪	209,800～256,600㎡	233,189㎡	MGM大阪ヴィラ	4,900～6,100㎡	5,529㎡	MUSUBIホテル	45,600～55,800㎡	50,719㎡	カジノ施設 (10項)	カジノ施設	58,600～71,700㎡	65,166㎡	来訪及び滞在寄与施設 (1項6号)	夢洲シアター	12,000～14,700㎡	13,338㎡	Luxuryリテール	44,500～54,500㎡	49,472㎡	その他リテール	370～540㎡	415㎡	飲食施設	11,200～13,800㎡	12,478㎡	共通バックヤード	98,200～153,500㎡	125,866㎡	駐車場	84,800～137,100㎡	110,989㎡	エネルギーセンター	9,400～11,600㎡	10,511㎡	合計		731,000～848,000㎡	770,525㎡	<p data-bbox="1561 241 1828 273">② IR施設の床面積</p> <p data-bbox="1620 304 2629 325">IR施設を構成する各施設の計画床面積及びオープンスペースの面積は下表のとおり。</p> <p data-bbox="2036 357 2392 388">【図表2：IR施設の床面積】</p> <table border="1" data-bbox="1614 390 2745 1455"> <thead> <tr> <th>IR整備法第2条の区分</th> <th>施設名称</th> <th>延床面積</th> <th>暫定計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際会議場施設 (1項1号)</td> <td>国際会議場施設</td> <td>33,100～40,600㎡</td> <td>40,320㎡</td> </tr> <tr> <td>展示等施設 (1項2号)</td> <td>展示等施設</td> <td>28,300～34,700㎡</td> <td>32,505㎡</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">魅力増進施設 (1項3号)</td> <td>関西アート&カルチャーミュージアム</td> <td>790～1,200㎡</td> <td>933㎡</td> </tr> <tr> <td>ジャパン・フードパビリオン</td> <td>7,300～9,100㎡</td> <td>8,661㎡</td> </tr> <tr> <td>ガーデンシアター</td> <td>910～1,400㎡</td> <td>1,400㎡</td> </tr> <tr> <td>関西ジャパンハウス</td> <td>450～660㎡</td> <td>491㎡</td> </tr> <tr> <td>三道体験スタジオ</td> <td>460～680㎡</td> <td>679㎡</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">送客施設 (1項4号)</td> <td>関西ツーリズムセンター</td> <td>680～990㎡</td> <td>735㎡</td> </tr> <tr> <td>バスターミナル</td> <td>10,100～12,500㎡</td> <td>10,450㎡</td> </tr> <tr> <td>フェリーターミナル</td> <td>1,100～1,800㎡</td> <td>1,161㎡</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">宿泊施設 (1項5号)</td> <td>MGM大阪</td> <td>209,800～256,600㎡</td> <td>214,068㎡</td> </tr> <tr> <td>MGM大阪ヴィラ</td> <td>4,900～6,100㎡</td> <td>5,347㎡</td> </tr> <tr> <td>MUSUBIホテル</td> <td>45,600～55,800㎡</td> <td>47,457㎡</td> </tr> <tr> <td>カジノ施設 (10項)</td> <td>カジノ施設</td> <td>58,600～71,700㎡</td> <td>70,333㎡</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">来訪及び滞在寄与施設 (1項6号)</td> <td>夢洲シアター</td> <td>12,000～14,700㎡</td> <td>14,571㎡</td> </tr> <tr> <td>Luxuryリテール</td> <td>44,500～54,500㎡</td> <td>45,308㎡</td> </tr> <tr> <td>その他リテール</td> <td>370～540㎡</td> <td>520㎡</td> </tr> <tr> <td>飲食施設</td> <td>11,200～13,800㎡</td> <td>12,709㎡</td> </tr> <tr> <td>共通バックヤード等</td> <td>98,200～153,500㎡</td> <td>150,365㎡</td> </tr> <tr> <td>駐車場</td> <td>84,800～137,100㎡</td> <td>106,319㎡</td> </tr> <tr> <td>エネルギーセンター</td> <td>9,400～11,600㎡</td> <td>12,095㎡</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>731,000～848,000㎡</td> <td>776,427㎡</td> </tr> </tbody> </table>	IR整備法第2条の区分	施設名称	延床面積	暫定計画値	国際会議場施設 (1項1号)	国際会議場施設	33,100～40,600㎡	40,320㎡	展示等施設 (1項2号)	展示等施設	28,300～34,700㎡	32,505㎡	魅力増進施設 (1項3号)	関西アート&カルチャーミュージアム	790～1,200㎡	933㎡	ジャパン・フードパビリオン	7,300～9,100㎡	8,661㎡	ガーデンシアター	910～1,400㎡	1,400㎡	関西ジャパンハウス	450～660㎡	491㎡	三道体験スタジオ	460～680㎡	679㎡	送客施設 (1項4号)	関西ツーリズムセンター	680～990㎡	735㎡	バスターミナル	10,100～12,500㎡	10,450㎡	フェリーターミナル	1,100～1,800㎡	1,161㎡	宿泊施設 (1項5号)	MGM大阪	209,800～256,600㎡	214,068㎡	MGM大阪ヴィラ	4,900～6,100㎡	5,347㎡	MUSUBIホテル	45,600～55,800㎡	47,457㎡	カジノ施設 (10項)	カジノ施設	58,600～71,700㎡	70,333㎡	来訪及び滞在寄与施設 (1項6号)	夢洲シアター	12,000～14,700㎡	14,571㎡	Luxuryリテール	44,500～54,500㎡	45,308㎡	その他リテール	370～540㎡	520㎡	飲食施設	11,200～13,800㎡	12,709㎡	共通バックヤード等	98,200～153,500㎡	150,365㎡	駐車場	84,800～137,100㎡	106,319㎡	エネルギーセンター	9,400～11,600㎡	12,095㎡	合計		731,000～848,000㎡	776,427㎡
IR整備法第2条の区分	施設名称	延床面積	暫定計画値																																																																																																																																																												
国際会議場施設 (1項1号)	国際会議場施設	33,100～40,600㎡	36,875㎡																																																																																																																																																												
展示等施設 (1項2号)	展示等施設	28,300～34,700㎡	31,455㎡																																																																																																																																																												
魅力増進施設 (1項3号)	関西アート&カルチャーミュージアム	790～1,200㎡	887㎡																																																																																																																																																												
	ジャパン・フードパビリオン	7,300～9,100㎡	8,220㎡																																																																																																																																																												
	ガーデンシアター	910～1,400㎡	1,018㎡																																																																																																																																																												
	関西ジャパンハウス	450～660㎡	505㎡																																																																																																																																																												
	三道体験スタジオ	460～680㎡	520㎡																																																																																																																																																												
送客施設 (1項4号)	関西ツーリズムセンター	680～990㎡	758㎡																																																																																																																																																												
	バスターミナル	10,100～12,500㎡	11,284㎡																																																																																																																																																												
	フェリーターミナル	1,100～1,800㎡	1,331㎡																																																																																																																																																												
宿泊施設 (1項5号)	MGM大阪	209,800～256,600㎡	233,189㎡																																																																																																																																																												
	MGM大阪ヴィラ	4,900～6,100㎡	5,529㎡																																																																																																																																																												
	MUSUBIホテル	45,600～55,800㎡	50,719㎡																																																																																																																																																												
カジノ施設 (10項)	カジノ施設	58,600～71,700㎡	65,166㎡																																																																																																																																																												
来訪及び滞在寄与施設 (1項6号)	夢洲シアター	12,000～14,700㎡	13,338㎡																																																																																																																																																												
	Luxuryリテール	44,500～54,500㎡	49,472㎡																																																																																																																																																												
	その他リテール	370～540㎡	415㎡																																																																																																																																																												
	飲食施設	11,200～13,800㎡	12,478㎡																																																																																																																																																												
	共通バックヤード	98,200～153,500㎡	125,866㎡																																																																																																																																																												
	駐車場	84,800～137,100㎡	110,989㎡																																																																																																																																																												
	エネルギーセンター	9,400～11,600㎡	10,511㎡																																																																																																																																																												
	合計		731,000～848,000㎡	770,525㎡																																																																																																																																																											
IR整備法第2条の区分	施設名称	延床面積	暫定計画値																																																																																																																																																												
国際会議場施設 (1項1号)	国際会議場施設	33,100～40,600㎡	40,320㎡																																																																																																																																																												
展示等施設 (1項2号)	展示等施設	28,300～34,700㎡	32,505㎡																																																																																																																																																												
魅力増進施設 (1項3号)	関西アート&カルチャーミュージアム	790～1,200㎡	933㎡																																																																																																																																																												
	ジャパン・フードパビリオン	7,300～9,100㎡	8,661㎡																																																																																																																																																												
	ガーデンシアター	910～1,400㎡	1,400㎡																																																																																																																																																												
	関西ジャパンハウス	450～660㎡	491㎡																																																																																																																																																												
	三道体験スタジオ	460～680㎡	679㎡																																																																																																																																																												
送客施設 (1項4号)	関西ツーリズムセンター	680～990㎡	735㎡																																																																																																																																																												
	バスターミナル	10,100～12,500㎡	10,450㎡																																																																																																																																																												
	フェリーターミナル	1,100～1,800㎡	1,161㎡																																																																																																																																																												
宿泊施設 (1項5号)	MGM大阪	209,800～256,600㎡	214,068㎡																																																																																																																																																												
	MGM大阪ヴィラ	4,900～6,100㎡	5,347㎡																																																																																																																																																												
	MUSUBIホテル	45,600～55,800㎡	47,457㎡																																																																																																																																																												
カジノ施設 (10項)	カジノ施設	58,600～71,700㎡	70,333㎡																																																																																																																																																												
来訪及び滞在寄与施設 (1項6号)	夢洲シアター	12,000～14,700㎡	14,571㎡																																																																																																																																																												
	Luxuryリテール	44,500～54,500㎡	45,308㎡																																																																																																																																																												
	その他リテール	370～540㎡	520㎡																																																																																																																																																												
	飲食施設	11,200～13,800㎡	12,709㎡																																																																																																																																																												
	共通バックヤード等	98,200～153,500㎡	150,365㎡																																																																																																																																																												
	駐車場	84,800～137,100㎡	106,319㎡																																																																																																																																																												
	エネルギーセンター	9,400～11,600㎡	12,095㎡																																																																																																																																																												
合計		731,000～848,000㎡	776,427㎡																																																																																																																																																												

NO.	様式	区域整備計画 (2025年5月9日)	区域整備計画 (2025年9月12日)																																																																																																																																																
4	評価基準 3	<p>③ その他スケールに関する事項</p> <p>各施設の計画収容人員は下表のとおり。</p> <p style="text-align: center;">【図表4：各施設の計画収容人員】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名称</th> <th>利用シーン 収容人員</th> <th>消防法 収容人員</th> <th>施設名称</th> <th>利用シーン 収容人員</th> <th>消防法 収容人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際会議場施設</td> <td>13,645人</td> <td>27,907人</td> <td>MGM大阪ヴィラ</td> <td>66人</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>展示等施設</td> <td>10,000人</td> <td>23,348人</td> <td>MUSUBIホテル</td> <td>3,876人</td> <td>4,973人</td> </tr> <tr> <td>関西アート&カルチャーミュージアム</td> <td>123人</td> <td>162人</td> <td>カジノ施設</td> <td>11,500人</td> <td>11,955人</td> </tr> <tr> <td>ジャパン・フードパビリオン</td> <td>1,450人</td> <td>1,779人</td> <td>夢洲シアター</td> <td>3,500人</td> <td>3,850人</td> </tr> <tr> <td>ガーデンシアター</td> <td>400人</td> <td>490人</td> <td>Luxuryリテール</td> <td>6,063人</td> <td>9,795人</td> </tr> <tr> <td>関西ジャパンハウス</td> <td>101人</td> <td>114人</td> <td>その他リテール</td> <td>83人</td> <td>95人</td> </tr> <tr> <td>三道体験スタジオ</td> <td>139人</td> <td>152人</td> <td>飲食施設</td> <td>2,365人</td> <td>2,721人</td> </tr> <tr> <td>関西ツーリズムセンター</td> <td>151人</td> <td>190人</td> <td>共通バックヤード</td> <td>—</td> <td>6,519人</td> </tr> <tr> <td>バスターミナル</td> <td>138人</td> <td>911人</td> <td>駐車場</td> <td>8,753人</td> <td>401人</td> </tr> <tr> <td>フェリーターミナル</td> <td>66人</td> <td>333人</td> <td>エネルギーセンター</td> <td>—</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>MGM大阪</td> <td>10,590人</td> <td>11,221人</td> <td>合計</td> <td>73,009人</td> <td>107,014人</td> </tr> </tbody> </table>	施設名称	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員	施設名称	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員	国際会議場施設	13,645人	27,907人	MGM大阪ヴィラ	66人	66人	展示等施設	10,000人	23,348人	MUSUBIホテル	3,876人	4,973人	関西アート&カルチャーミュージアム	123人	162人	カジノ施設	11,500人	11,955人	ジャパン・フードパビリオン	1,450人	1,779人	夢洲シアター	3,500人	3,850人	ガーデンシアター	400人	490人	Luxuryリテール	6,063人	9,795人	関西ジャパンハウス	101人	114人	その他リテール	83人	95人	三道体験スタジオ	139人	152人	飲食施設	2,365人	2,721人	関西ツーリズムセンター	151人	190人	共通バックヤード	—	6,519人	バスターミナル	138人	911人	駐車場	8,753人	401人	フェリーターミナル	66人	333人	エネルギーセンター	—	32人	MGM大阪	10,590人	11,221人	合計	73,009人	107,014人	<p>③ その他スケールに関する事項</p> <p>各施設の計画収容人員は下表のとおり。</p> <p style="text-align: center;">【図表4：各施設の計画収容人員】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名称</th> <th>利用シーン 収容人員</th> <th>消防法 収容人員</th> <th>施設名称</th> <th>利用シーン 収容人員</th> <th>消防法 収容人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際会議場施設</td> <td>13,786人</td> <td>29,846人</td> <td>MGM大阪ヴィラ</td> <td>66人</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>展示等施設</td> <td>10,000人</td> <td>9,308人</td> <td>MUSUBIホテル</td> <td>3,876人</td> <td>3,892人</td> </tr> <tr> <td>関西アート&カルチャーミュージアム</td> <td>123人</td> <td>231人</td> <td>カジノ施設</td> <td>11,500人</td> <td>14,387人</td> </tr> <tr> <td>ジャパン・フードパビリオン</td> <td>1,450人</td> <td>2,232人</td> <td>夢洲シアター</td> <td>3,500人</td> <td>3,728人</td> </tr> <tr> <td>ガーデンシアター</td> <td>400人</td> <td>469人</td> <td>Luxuryリテール</td> <td>6,063人</td> <td>4,689人</td> </tr> <tr> <td>関西ジャパンハウス</td> <td>101人</td> <td>125人</td> <td>その他リテール</td> <td>83人</td> <td>146人</td> </tr> <tr> <td>三道体験スタジオ</td> <td>139人</td> <td>160人</td> <td>飲食施設</td> <td>2,365人</td> <td>3,151人</td> </tr> <tr> <td>関西ツーリズムセンター</td> <td>151人</td> <td>60人</td> <td>共通バックヤード等</td> <td>—</td> <td>10,833人</td> </tr> <tr> <td>バスターミナル</td> <td>138人</td> <td>171人</td> <td>駐車場</td> <td>8,753人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>フェリーターミナル</td> <td>66人</td> <td>112人</td> <td>エネルギーセンター</td> <td>—</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>MGM大阪</td> <td>10,590人</td> <td>9,791人</td> <td>合計</td> <td>73,150人</td> <td>93,407人</td> </tr> </tbody> </table>	施設名称	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員	施設名称	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員	国際会議場施設	13,786人	29,846人	MGM大阪ヴィラ	66人	66人	展示等施設	10,000人	9,308人	MUSUBIホテル	3,876人	3,892人	関西アート&カルチャーミュージアム	123人	231人	カジノ施設	11,500人	14,387人	ジャパン・フードパビリオン	1,450人	2,232人	夢洲シアター	3,500人	3,728人	ガーデンシアター	400人	469人	Luxuryリテール	6,063人	4,689人	関西ジャパンハウス	101人	125人	その他リテール	83人	146人	三道体験スタジオ	139人	160人	飲食施設	2,365人	3,151人	関西ツーリズムセンター	151人	60人	共通バックヤード等	—	10,833人	バスターミナル	138人	171人	駐車場	8,753人	0人	フェリーターミナル	66人	112人	エネルギーセンター	—	10人	MGM大阪	10,590人	9,791人	合計	73,150人	93,407人
施設名称	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員	施設名称	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員																																																																																																																																														
国際会議場施設	13,645人	27,907人	MGM大阪ヴィラ	66人	66人																																																																																																																																														
展示等施設	10,000人	23,348人	MUSUBIホテル	3,876人	4,973人																																																																																																																																														
関西アート&カルチャーミュージアム	123人	162人	カジノ施設	11,500人	11,955人																																																																																																																																														
ジャパン・フードパビリオン	1,450人	1,779人	夢洲シアター	3,500人	3,850人																																																																																																																																														
ガーデンシアター	400人	490人	Luxuryリテール	6,063人	9,795人																																																																																																																																														
関西ジャパンハウス	101人	114人	その他リテール	83人	95人																																																																																																																																														
三道体験スタジオ	139人	152人	飲食施設	2,365人	2,721人																																																																																																																																														
関西ツーリズムセンター	151人	190人	共通バックヤード	—	6,519人																																																																																																																																														
バスターミナル	138人	911人	駐車場	8,753人	401人																																																																																																																																														
フェリーターミナル	66人	333人	エネルギーセンター	—	32人																																																																																																																																														
MGM大阪	10,590人	11,221人	合計	73,009人	107,014人																																																																																																																																														
施設名称	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員	施設名称	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員																																																																																																																																														
国際会議場施設	13,786人	29,846人	MGM大阪ヴィラ	66人	66人																																																																																																																																														
展示等施設	10,000人	9,308人	MUSUBIホテル	3,876人	3,892人																																																																																																																																														
関西アート&カルチャーミュージアム	123人	231人	カジノ施設	11,500人	14,387人																																																																																																																																														
ジャパン・フードパビリオン	1,450人	2,232人	夢洲シアター	3,500人	3,728人																																																																																																																																														
ガーデンシアター	400人	469人	Luxuryリテール	6,063人	4,689人																																																																																																																																														
関西ジャパンハウス	101人	125人	その他リテール	83人	146人																																																																																																																																														
三道体験スタジオ	139人	160人	飲食施設	2,365人	3,151人																																																																																																																																														
関西ツーリズムセンター	151人	60人	共通バックヤード等	—	10,833人																																																																																																																																														
バスターミナル	138人	171人	駐車場	8,753人	0人																																																																																																																																														
フェリーターミナル	66人	112人	エネルギーセンター	—	10人																																																																																																																																														
MGM大阪	10,590人	9,791人	合計	73,150人	93,407人																																																																																																																																														
5	評価基準 5	<p>② 国際会議場施設の床面積及び収容人員</p> <p>1. 床面積</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>NO.</th> <th>種類</th> <th>会議室名称</th> <th>室数</th> <th>1室あたり床面積 (計画値)</th> <th>床面積 (暫定計画値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>最大 会議室</td> <td>グランドボールルーム</td> <td>1室</td> <td>約6,480~7,800㎡</td> <td>6,480㎡</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td rowspan="9">中小 会議室</td> <td>プレジデンシャル・ボールルーム</td> <td>1室</td> <td>約2,500~3,000㎡</td> <td rowspan="9">6,480㎡</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム</td> <td>1室</td> <td>約1,500~1,800㎡</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ジュニアヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム</td> <td>1室</td> <td>約750~900㎡</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>多目的室(ラージ)</td> <td>2室程度</td> <td>約245~294㎡</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>多目的室(ミディアム)</td> <td>2室程度</td> <td>約200~240㎡</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>多目的室(スモール)</td> <td>2室程度</td> <td>約150~180㎡</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>エグゼクティブ・ボードルーム</td> <td>2室程度</td> <td>約100~120㎡</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ボードルーム</td> <td>4室程度</td> <td>約50~60㎡</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>VIP会議室</td> <td>4室程度</td> <td>約35~42㎡</td> </tr> <tr> <td colspan="4">合計</td> <td>約12,960~15,600㎡</td> <td>12,960㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各会議室の1室あたり床面積及び室数については、今後の設計の進捗に伴い国際会議場施設の床面積の合計(約12,960</p>	NO.	種類	会議室名称	室数	1室あたり床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	1	最大 会議室	グランドボールルーム	1室	約6,480~7,800㎡	6,480㎡	2	中小 会議室	プレジデンシャル・ボールルーム	1室	約2,500~3,000㎡	6,480㎡	3	ヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム	1室	約1,500~1,800㎡	4	ジュニアヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム	1室	約750~900㎡	5	多目的室(ラージ)	2室程度	約245~294㎡	6	多目的室(ミディアム)	2室程度	約200~240㎡	7	多目的室(スモール)	2室程度	約150~180㎡	8	エグゼクティブ・ボードルーム	2室程度	約100~120㎡	9	ボードルーム	4室程度	約50~60㎡	10	VIP会議室	4室程度	約35~42㎡	合計				約12,960~15,600㎡	12,960㎡	<p>② 国際会議場施設の床面積及び収容人員</p> <p>1. 床面積</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>NO.</th> <th>種類</th> <th>会議室名称</th> <th>室数</th> <th>1室あたり床面積 (計画値)</th> <th>床面積 (暫定計画値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>最大 会議室</td> <td>グランドボールルーム</td> <td>1室</td> <td>約6,480~7,800㎡</td> <td>6,548㎡</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td rowspan="8">中小 会議室</td> <td>プレジデンシャル・ボールルーム</td> <td>1室</td> <td>約2,500~3,000㎡</td> <td rowspan="8">6,552㎡</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム</td> <td>1室</td> <td>約1,500~1,800㎡</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ジュニアヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム</td> <td>1室</td> <td>約750~900㎡</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>会議室(ラージ)</td> <td>1室</td> <td>約200~250㎡</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>会議室(ミディアム)</td> <td>6室</td> <td>約150~200㎡</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>会議室(スモール)</td> <td>5室</td> <td>約100~150㎡</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>会議室(ビジネスセンター)</td> <td>3室</td> <td>約10~50㎡</td> </tr> <tr> <td colspan="4">合計</td> <td>約12,960~15,600㎡</td> <td>13,099㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各会議室の1室あたり床面積及び室数については、今後の設計の進捗に伴い国際会議場施設の床面積の合計(約12,960~15,600㎡)の範囲で変更が生じる可能性がある。</p>	NO.	種類	会議室名称	室数	1室あたり床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	1	最大 会議室	グランドボールルーム	1室	約6,480~7,800㎡	6,548㎡	2	中小 会議室	プレジデンシャル・ボールルーム	1室	約2,500~3,000㎡	6,552㎡	3	ヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム	1室	約1,500~1,800㎡	4	ジュニアヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム	1室	約750~900㎡	5	会議室(ラージ)	1室	約200~250㎡	6	会議室(ミディアム)	6室	約150~200㎡	7	会議室(スモール)	5室	約100~150㎡	8	会議室(ビジネスセンター)	3室	約10~50㎡	合計				約12,960~15,600㎡	13,099㎡																																								
NO.	種類	会議室名称	室数	1室あたり床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)																																																																																																																																														
1	最大 会議室	グランドボールルーム	1室	約6,480~7,800㎡	6,480㎡																																																																																																																																														
2	中小 会議室	プレジデンシャル・ボールルーム	1室	約2,500~3,000㎡	6,480㎡																																																																																																																																														
3		ヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム	1室	約1,500~1,800㎡																																																																																																																																															
4		ジュニアヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム	1室	約750~900㎡																																																																																																																																															
5		多目的室(ラージ)	2室程度	約245~294㎡																																																																																																																																															
6		多目的室(ミディアム)	2室程度	約200~240㎡																																																																																																																																															
7		多目的室(スモール)	2室程度	約150~180㎡																																																																																																																																															
8		エグゼクティブ・ボードルーム	2室程度	約100~120㎡																																																																																																																																															
9		ボードルーム	4室程度	約50~60㎡																																																																																																																																															
10		VIP会議室	4室程度	約35~42㎡																																																																																																																																															
合計				約12,960~15,600㎡	12,960㎡																																																																																																																																														
NO.	種類	会議室名称	室数	1室あたり床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)																																																																																																																																														
1	最大 会議室	グランドボールルーム	1室	約6,480~7,800㎡	6,548㎡																																																																																																																																														
2	中小 会議室	プレジデンシャル・ボールルーム	1室	約2,500~3,000㎡	6,552㎡																																																																																																																																														
3		ヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム	1室	約1,500~1,800㎡																																																																																																																																															
4		ジュニアヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム	1室	約750~900㎡																																																																																																																																															
5		会議室(ラージ)	1室	約200~250㎡																																																																																																																																															
6		会議室(ミディアム)	6室	約150~200㎡																																																																																																																																															
7		会議室(スモール)	5室	約100~150㎡																																																																																																																																															
8		会議室(ビジネスセンター)	3室	約10~50㎡																																																																																																																																															
合計				約12,960~15,600㎡		13,099㎡																																																																																																																																													

NO.	様式	区域整備計画 (2025年5月9日)						区域整備計画 (2025年9月12日)																																																																																																															
		～15,600㎡)の範囲で変更が生じる可能性がある。																																																																																																																					
		2. 収容人員																																																																																																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">NO.</th> <th rowspan="3">種類</th> <th rowspan="3">会議室名称</th> <th colspan="4">利用シーン収容人員</th> <th rowspan="3">消防法 収容人員</th> <th rowspan="3">消防法 収容人員の 算出根拠</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">スクール形式 1.8㎡/人</th> <th rowspan="2">シアター形式 0.95㎡/人</th> <th colspan="2">レセプション形式</th> </tr> <tr> <th>立席形式 1.4㎡/人</th> <th>着席形式 1.85㎡/人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>最大 会議室</td> <td>グランドホールルーム</td> <td>3,600人</td> <td>6,821人</td> <td>4,629人</td> <td>3,503人</td> <td>12,960人</td> <td>6,480㎡÷ 0.5×1室</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td rowspan="10">中小 会議室</td> <td>プレゼンテーションホール ーム</td> <td>1,389人</td> <td>2,632人</td> <td>1,786人</td> <td>1,351人</td> <td>5,000人</td> <td>2,500㎡÷ 0.5×1室</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ウエアラブルプレゼンテーション ホールーム</td> <td>833人</td> <td>1,579人</td> <td>1,071人</td> <td>811人</td> <td>3,000人</td> <td>1,500㎡÷ 0.5×1室</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ジュニアウエアラブルプレゼン テーションホールーム</td> <td>417人</td> <td>789人</td> <td>536人</td> <td>405人</td> <td>1,500人</td> <td>750㎡÷0.5 ×1室</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>多目的室 (ラージ)</td> <td>272人</td> <td>516人</td> <td>350人</td> <td>264人</td> <td>980人</td> <td>245㎡÷0.5 ×2室</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>多目的室 (ミディアム)</td> <td>222人</td> <td>422人</td> <td>286人</td> <td>216人</td> <td>800人</td> <td>200㎡÷ 0.5×2室</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>多目的室 (スモール)</td> <td>166人</td> <td>316人</td> <td>214人</td> <td>162人</td> <td>600人</td> <td>150㎡÷0.5 ×2室</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>エグゼクティブ・ ホールーム</td> <td>112人</td> <td>210人</td> <td>142人</td> <td>108人</td> <td>400人</td> <td>100㎡÷0.5 ×2室</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ホールーム</td> <td>112人</td> <td>212人</td> <td>144人</td> <td>108人</td> <td>400人</td> <td>50㎡÷0.5× 4室</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>VIP会議室</td> <td>76人</td> <td>148人</td> <td>100人</td> <td>76人</td> <td>280人</td> <td>35㎡÷0.5× 4室</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>7,199人</td> <td>13,645人</td> <td>9,258人</td> <td>7,004人</td> <td>25,920人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												NO.	種類	会議室名称	利用シーン収容人員				消防法 収容人員	消防法 収容人員の 算出根拠	スクール形式 1.8㎡/人	シアター形式 0.95㎡/人	レセプション形式		立席形式 1.4㎡/人	着席形式 1.85㎡/人	1	最大 会議室	グランドホールルーム	3,600人	6,821人	4,629人	3,503人	12,960人	6,480㎡÷ 0.5×1室	2	中小 会議室	プレゼンテーションホール ーム	1,389人	2,632人	1,786人	1,351人	5,000人	2,500㎡÷ 0.5×1室	3	ウエアラブルプレゼンテーション ホールーム	833人	1,579人	1,071人	811人	3,000人	1,500㎡÷ 0.5×1室	4	ジュニアウエアラブルプレゼン テーションホールーム	417人	789人	536人	405人	1,500人	750㎡÷0.5 ×1室	5	多目的室 (ラージ)	272人	516人	350人	264人	980人	245㎡÷0.5 ×2室	6	多目的室 (ミディアム)	222人	422人	286人	216人	800人	200㎡÷ 0.5×2室	7	多目的室 (スモール)	166人	316人	214人	162人	600人	150㎡÷0.5 ×2室	8	エグゼクティブ・ ホールーム	112人	210人	142人	108人	400人	100㎡÷0.5 ×2室	9	ホールーム	112人	212人	144人	108人	400人	50㎡÷0.5× 4室	10	VIP会議室	76人	148人	100人	76人	280人	35㎡÷0.5× 4室	合計			7,199人	13,645人	9,258人	7,004人	25,920人	
NO.	種類	会議室名称	利用シーン収容人員				消防法 収容人員	消防法 収容人員の 算出根拠																																																																																																															
			スクール形式 1.8㎡/人	シアター形式 0.95㎡/人	レセプション形式																																																																																																																		
					立席形式 1.4㎡/人	着席形式 1.85㎡/人																																																																																																																	
1	最大 会議室	グランドホールルーム	3,600人	6,821人	4,629人	3,503人	12,960人	6,480㎡÷ 0.5×1室																																																																																																															
2	中小 会議室	プレゼンテーションホール ーム	1,389人	2,632人	1,786人	1,351人	5,000人	2,500㎡÷ 0.5×1室																																																																																																															
3		ウエアラブルプレゼンテーション ホールーム	833人	1,579人	1,071人	811人	3,000人	1,500㎡÷ 0.5×1室																																																																																																															
4		ジュニアウエアラブルプレゼン テーションホールーム	417人	789人	536人	405人	1,500人	750㎡÷0.5 ×1室																																																																																																															
5		多目的室 (ラージ)	272人	516人	350人	264人	980人	245㎡÷0.5 ×2室																																																																																																															
6		多目的室 (ミディアム)	222人	422人	286人	216人	800人	200㎡÷ 0.5×2室																																																																																																															
7		多目的室 (スモール)	166人	316人	214人	162人	600人	150㎡÷0.5 ×2室																																																																																																															
8		エグゼクティブ・ ホールーム	112人	210人	142人	108人	400人	100㎡÷0.5 ×2室																																																																																																															
9		ホールーム	112人	212人	144人	108人	400人	50㎡÷0.5× 4室																																																																																																															
10		VIP会議室	76人	148人	100人	76人	280人	35㎡÷0.5× 4室																																																																																																															
合計			7,199人	13,645人	9,258人	7,004人	25,920人																																																																																																																
		2. 収容人員																																																																																																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">NO.</th> <th rowspan="3">種類</th> <th rowspan="3">会議室名称</th> <th colspan="4">利用シーン収容人員</th> <th rowspan="3">消防法 収容人員</th> <th rowspan="3">消防法 収容人員の 算出根拠</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">スクール形式 1.8㎡/人</th> <th rowspan="2">シアター形式 0.95㎡/人</th> <th colspan="2">レセプション形式</th> </tr> <tr> <th>立席形式 1.4㎡/人</th> <th>着席形式 1.85㎡/人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>最大 会議室</td> <td>グランドホールルーム</td> <td>3,637人</td> <td>6,892人</td> <td>4,676人</td> <td>3,539人</td> <td>13,235人</td> <td>6,618㎡÷ 0.5×1室</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td rowspan="8">中小 会議室</td> <td>プレゼンテーションホール ーム</td> <td>1,393人</td> <td>2,640人</td> <td>1,791人</td> <td>1,355人</td> <td>5,104人</td> <td>2,552㎡÷ 0.5×1室</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ウエアラブルプレゼンテーション ホールーム</td> <td>848人</td> <td>1,608人</td> <td>1,091人</td> <td>825人</td> <td>3,084人</td> <td>1,542㎡÷ 0.5×1室</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ジュニアウエアラブルプレゼン テーションホールーム</td> <td>418人</td> <td>792人</td> <td>537人</td> <td>406人</td> <td>1,555人</td> <td>778㎡÷0.5 ×1室</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>会議室 (ラージ)</td> <td>116人</td> <td>221人</td> <td>150人</td> <td>113人</td> <td>455人</td> <td>228㎡÷0.5 ×1室</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>会議室 (ミディアム)</td> <td>519人</td> <td>983人</td> <td>667人</td> <td>505人</td> <td>2,020人</td> <td>169㎡÷ 0.5×6室</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>会議室 (スモール)</td> <td>301人</td> <td>571人</td> <td>387人</td> <td>293人</td> <td>1,204人</td> <td>120㎡÷0.5 ×5室</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>会議室 (ビジネスセンタ ー)</td> <td>41人</td> <td>79人</td> <td>53人</td> <td>40人</td> <td>175人</td> <td>29㎡÷0.5× 3室</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>7,273人</td> <td>13,786人</td> <td>9,352人</td> <td>7,076人</td> <td>26,832人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												NO.	種類	会議室名称	利用シーン収容人員				消防法 収容人員	消防法 収容人員の 算出根拠	スクール形式 1.8㎡/人	シアター形式 0.95㎡/人	レセプション形式		立席形式 1.4㎡/人	着席形式 1.85㎡/人	1	最大 会議室	グランドホールルーム	3,637人	6,892人	4,676人	3,539人	13,235人	6,618㎡÷ 0.5×1室	2	中小 会議室	プレゼンテーションホール ーム	1,393人	2,640人	1,791人	1,355人	5,104人	2,552㎡÷ 0.5×1室	3	ウエアラブルプレゼンテーション ホールーム	848人	1,608人	1,091人	825人	3,084人	1,542㎡÷ 0.5×1室	4	ジュニアウエアラブルプレゼン テーションホールーム	418人	792人	537人	406人	1,555人	778㎡÷0.5 ×1室	5	会議室 (ラージ)	116人	221人	150人	113人	455人	228㎡÷0.5 ×1室	6	会議室 (ミディアム)	519人	983人	667人	505人	2,020人	169㎡÷ 0.5×6室	7	会議室 (スモール)	301人	571人	387人	293人	1,204人	120㎡÷0.5 ×5室	8	会議室 (ビジネスセンタ ー)	41人	79人	53人	40人	175人	29㎡÷0.5× 3室	合計			7,273人	13,786人	9,352人	7,076人	26,832人																	
NO.	種類	会議室名称	利用シーン収容人員				消防法 収容人員	消防法 収容人員の 算出根拠																																																																																																															
			スクール形式 1.8㎡/人	シアター形式 0.95㎡/人	レセプション形式																																																																																																																		
					立席形式 1.4㎡/人	着席形式 1.85㎡/人																																																																																																																	
1	最大 会議室	グランドホールルーム	3,637人	6,892人	4,676人	3,539人	13,235人	6,618㎡÷ 0.5×1室																																																																																																															
2	中小 会議室	プレゼンテーションホール ーム	1,393人	2,640人	1,791人	1,355人	5,104人	2,552㎡÷ 0.5×1室																																																																																																															
3		ウエアラブルプレゼンテーション ホールーム	848人	1,608人	1,091人	825人	3,084人	1,542㎡÷ 0.5×1室																																																																																																															
4		ジュニアウエアラブルプレゼン テーションホールーム	418人	792人	537人	406人	1,555人	778㎡÷0.5 ×1室																																																																																																															
5		会議室 (ラージ)	116人	221人	150人	113人	455人	228㎡÷0.5 ×1室																																																																																																															
6		会議室 (ミディアム)	519人	983人	667人	505人	2,020人	169㎡÷ 0.5×6室																																																																																																															
7		会議室 (スモール)	301人	571人	387人	293人	1,204人	120㎡÷0.5 ×5室																																																																																																															
8		会議室 (ビジネスセンタ ー)	41人	79人	53人	40人	175人	29㎡÷0.5× 3室																																																																																																															
合計			7,273人	13,786人	9,352人	7,076人	26,832人																																																																																																																
		※式中の面積は壁芯面積																																																																																																																					
		3. 附帯するその他施設の床面積																																																																																																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>NO.</th> <th>主な附帯施設</th> <th>床面積 (計画値)</th> <th>床面積 (暫定計画値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ホワイエ (中廊下) 等</td> <td>約14,100～19,500㎡</td> <td>17,680㎡</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>厨房・倉庫等</td> <td>約5,000～8,000㎡</td> <td>6,635㎡</td> </tr> </tbody> </table>												NO.	主な附帯施設	床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	1	ホワイエ (中廊下) 等	約14,100～19,500㎡	17,680㎡	2	厨房・倉庫等	約5,000～8,000㎡	6,635㎡																																																																																														
NO.	主な附帯施設	床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)																																																																																																																				
1	ホワイエ (中廊下) 等	約14,100～19,500㎡	17,680㎡																																																																																																																				
2	厨房・倉庫等	約5,000～8,000㎡	6,635㎡																																																																																																																				
		3. 附帯するその他施設の床面積																																																																																																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>NO.</th> <th>主な附帯施設</th> <th>床面積 (計画値)</th> <th>床面積 (暫定計画値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ホワイエ (中廊下) 等</td> <td>約14,100～19,500㎡</td> <td>14,528㎡</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>厨房・倉庫等</td> <td>約5,000～8,000㎡</td> <td>6,528㎡</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ビジネスセンター</td> <td>約220～350㎡</td> <td>284㎡</td> </tr> </tbody> </table>												NO.	主な附帯施設	床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	1	ホワイエ (中廊下) 等	約14,100～19,500㎡	14,528㎡	2	厨房・倉庫等	約5,000～8,000㎡	6,528㎡	3	ビジネスセンター	約220～350㎡	284㎡																																																																																										
NO.	主な附帯施設	床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)																																																																																																																				
1	ホワイエ (中廊下) 等	約14,100～19,500㎡	14,528㎡																																																																																																																				
2	厨房・倉庫等	約5,000～8,000㎡	6,528㎡																																																																																																																				
3	ビジネスセンター	約220～350㎡	284㎡																																																																																																																				

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）																																																																																																																																								
6	評価基準 5	<p data-bbox="311 237 750 273">④ 展示等施設の収容人員及び床面積</p> <p data-bbox="311 296 602 327">1. 収容人員及び床面積</p> <p data-bbox="335 333 943 365">(1) 実際の利用シーンにおける収容人員及び床面積</p> <table border="1" data-bbox="359 369 1504 609"> <thead> <tr> <th rowspan="2">NO.</th> <th rowspan="2">展示ホールの名称</th> <th rowspan="2">床面積 (計画値)</th> <th rowspan="2">床面積 (暫定計画値)</th> <th colspan="4">コンテンツ毎の収容人員</th> </tr> <tr> <th>一般的な BtoB展示会</th> <th>一般的な BtoC展示会</th> <th>スポーツ イベント</th> <th>その他エンター テイメントイベント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ホールA</td> <td>約10,000～12,000㎡</td> <td>10,000㎡</td> <td>10,000人</td> <td>10,000人</td> <td>10,000人</td> <td>10,000人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ホールB</td> <td>約10,000～12,000㎡</td> <td>10,000㎡</td> <td>程度</td> <td>程度</td> <td>程度</td> <td>程度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>約20,000～24,000㎡</td> <td>20,000㎡</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="335 648 997 680">(2) 消防法施行規則第1条の3の規定に基づく収容人員</p> <table border="1" data-bbox="359 684 1448 852"> <thead> <tr> <th>NO.</th> <th>展示ホールの名称</th> <th>消防法上の収容人員</th> <th>根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ホールA</td> <td>2,500人</td> <td>10,000㎡÷4㎡/人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ホールB</td> <td>20,000人</td> <td>10,000㎡÷0.5㎡/人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>22,500人</td> <td>NO.1+NO.2</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="311 892 706 924">2. 附帯するその他施設の床面積</p> <table border="1" data-bbox="359 928 1495 1125"> <thead> <tr> <th>NO.</th> <th>主な附帯施設</th> <th>床面積（計画値）</th> <th>床面積（暫定計画値）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ホワイエ（中廊下）等 ※国際会議場施設と共通</td> <td>約14,100～19,500㎡</td> <td>17,680㎡</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>厨房・倉庫等 ※国際会議場施設と共通</td> <td>約5,000～8,000㎡</td> <td>6,635㎡</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>コワーキングスペース・ビジネスラウンジ・ビジネスセンター・主催者用事務スペース等</td> <td>約980～1,800㎡</td> <td>1,040㎡</td> </tr> </tbody> </table>	NO.	展示ホールの名称	床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	コンテンツ毎の収容人員				一般的な BtoB展示会	一般的な BtoC展示会	スポーツ イベント	その他エンター テイメントイベント	1	ホールA	約10,000～12,000㎡	10,000㎡	10,000人	10,000人	10,000人	10,000人	2	ホールB	約10,000～12,000㎡	10,000㎡	程度	程度	程度	程度	合計		約20,000～24,000㎡	20,000㎡	-	-	-	-	NO.	展示ホールの名称	消防法上の収容人員	根拠	1	ホールA	2,500人	10,000㎡÷4㎡/人	2	ホールB	20,000人	10,000㎡÷0.5㎡/人	合計		22,500人	NO.1+NO.2	NO.	主な附帯施設	床面積（計画値）	床面積（暫定計画値）	1	ホワイエ（中廊下）等 ※国際会議場施設と共通	約14,100～19,500㎡	17,680㎡	2	厨房・倉庫等 ※国際会議場施設と共通	約5,000～8,000㎡	6,635㎡	3	コワーキングスペース・ビジネスラウンジ・ビジネスセンター・主催者用事務スペース等	約980～1,800㎡	1,040㎡	<p data-bbox="1561 237 2012 273">④ 展示等施設の収容人員及び床面積</p> <p data-bbox="1561 296 1852 327">1. 収容人員及び床面積</p> <p data-bbox="1584 333 2193 365">(1) 実際の利用シーンにおける収容人員及び床面積</p> <table border="1" data-bbox="1608 369 2754 609"> <thead> <tr> <th rowspan="2">NO.</th> <th rowspan="2">展示ホールの名称</th> <th rowspan="2">床面積 (計画値)</th> <th rowspan="2">床面積 (暫定計画値)</th> <th colspan="4">コンテンツ毎の収容人員</th> </tr> <tr> <th>一般的な BtoB展示会</th> <th>一般的な BtoC展示会</th> <th>スポーツ イベント</th> <th>その他エンター テイメントイベント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ホールA</td> <td>約9,800～12,000㎡</td> <td>9,884㎡</td> <td>10,000人</td> <td>10,000人</td> <td>10,000人</td> <td>10,000人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ホールB</td> <td>約10,000～12,000㎡</td> <td>10,167㎡</td> <td>程度</td> <td>程度</td> <td>程度</td> <td>程度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>約19,800～24,000㎡</td> <td>20,051㎡</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1584 648 2258 680">(2) 消防法施行規則第1条の3の規定に基づく収容人員</p> <table border="1" data-bbox="1608 684 2703 852"> <thead> <tr> <th>NO.</th> <th>展示ホールの名称</th> <th>消防法上の収容人員</th> <th>根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ホールA</td> <td>2,511人</td> <td>10,045㎡（壁芯面積）÷4㎡/人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ホールB</td> <td>2,611人</td> <td>10,447㎡（壁芯面積）÷4㎡/人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>5,122人</td> <td>NO.1+NO.2</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1561 892 1961 924">2. 附帯するその他施設の床面積</p> <table border="1" data-bbox="1608 928 2754 1125"> <thead> <tr> <th>NO.</th> <th>主な附帯施設</th> <th>床面積（計画値）</th> <th>床面積（暫定計画値）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ホワイエ（中廊下）等 ※国際会議場施設と共通</td> <td>約14,100～19,500㎡</td> <td>14,528㎡</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>厨房・倉庫等 ※国際会議場施設と共通</td> <td>約5,000～8,000㎡</td> <td>6,528㎡</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>コワーキングスペース・ビジネスラウンジ・主催者用事務スペース等</td> <td>約700～1,520㎡</td> <td>1,241㎡</td> </tr> </tbody> </table>	NO.	展示ホールの名称	床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	コンテンツ毎の収容人員				一般的な BtoB展示会	一般的な BtoC展示会	スポーツ イベント	その他エンター テイメントイベント	1	ホールA	約9,800～12,000㎡	9,884㎡	10,000人	10,000人	10,000人	10,000人	2	ホールB	約10,000～12,000㎡	10,167㎡	程度	程度	程度	程度	合計		約19,800～24,000㎡	20,051㎡	-	-	-	-	NO.	展示ホールの名称	消防法上の収容人員	根拠	1	ホールA	2,511人	10,045㎡（壁芯面積）÷4㎡/人	2	ホールB	2,611人	10,447㎡（壁芯面積）÷4㎡/人	合計		5,122人	NO.1+NO.2	NO.	主な附帯施設	床面積（計画値）	床面積（暫定計画値）	1	ホワイエ（中廊下）等 ※国際会議場施設と共通	約14,100～19,500㎡	14,528㎡	2	厨房・倉庫等 ※国際会議場施設と共通	約5,000～8,000㎡	6,528㎡	3	コワーキングスペース・ビジネスラウンジ・主催者用事務スペース等	約700～1,520㎡	1,241㎡
NO.	展示ホールの名称	床面積 (計画値)					床面積 (暫定計画値)	コンテンツ毎の収容人員																																																																																																																																			
			一般的な BtoB展示会	一般的な BtoC展示会	スポーツ イベント	その他エンター テイメントイベント																																																																																																																																					
1	ホールA	約10,000～12,000㎡	10,000㎡	10,000人	10,000人	10,000人	10,000人																																																																																																																																				
2	ホールB	約10,000～12,000㎡	10,000㎡	程度	程度	程度	程度																																																																																																																																				
合計		約20,000～24,000㎡	20,000㎡	-	-	-	-																																																																																																																																				
NO.	展示ホールの名称	消防法上の収容人員	根拠																																																																																																																																								
1	ホールA	2,500人	10,000㎡÷4㎡/人																																																																																																																																								
2	ホールB	20,000人	10,000㎡÷0.5㎡/人																																																																																																																																								
合計		22,500人	NO.1+NO.2																																																																																																																																								
NO.	主な附帯施設	床面積（計画値）	床面積（暫定計画値）																																																																																																																																								
1	ホワイエ（中廊下）等 ※国際会議場施設と共通	約14,100～19,500㎡	17,680㎡																																																																																																																																								
2	厨房・倉庫等 ※国際会議場施設と共通	約5,000～8,000㎡	6,635㎡																																																																																																																																								
3	コワーキングスペース・ビジネスラウンジ・ビジネスセンター・主催者用事務スペース等	約980～1,800㎡	1,040㎡																																																																																																																																								
NO.	展示ホールの名称	床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	コンテンツ毎の収容人員																																																																																																																																							
				一般的な BtoB展示会	一般的な BtoC展示会	スポーツ イベント	その他エンター テイメントイベント																																																																																																																																				
1	ホールA	約9,800～12,000㎡	9,884㎡	10,000人	10,000人	10,000人	10,000人																																																																																																																																				
2	ホールB	約10,000～12,000㎡	10,167㎡	程度	程度	程度	程度																																																																																																																																				
合計		約19,800～24,000㎡	20,051㎡	-	-	-	-																																																																																																																																				
NO.	展示ホールの名称	消防法上の収容人員	根拠																																																																																																																																								
1	ホールA	2,511人	10,045㎡（壁芯面積）÷4㎡/人																																																																																																																																								
2	ホールB	2,611人	10,447㎡（壁芯面積）÷4㎡/人																																																																																																																																								
合計		5,122人	NO.1+NO.2																																																																																																																																								
NO.	主な附帯施設	床面積（計画値）	床面積（暫定計画値）																																																																																																																																								
1	ホワイエ（中廊下）等 ※国際会議場施設と共通	約14,100～19,500㎡	14,528㎡																																																																																																																																								
2	厨房・倉庫等 ※国際会議場施設と共通	約5,000～8,000㎡	6,528㎡																																																																																																																																								
3	コワーキングスペース・ビジネスラウンジ・主催者用事務スペース等	約700～1,520㎡	1,241㎡																																																																																																																																								

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）																																																																																								
7	評価基準 6	<p>① 国際会議場施設の種類、機能、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針</p> <p>1. 国際会議場施設の種類、機能</p> <table border="1" data-bbox="362 331 1504 1081"> <thead> <tr> <th rowspan="2">NO.</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">会議室名称</th> <th rowspan="2">床面積 (計画値)</th> <th rowspan="2">床面積 (暫定計画値)</th> <th colspan="2">室ごとの導入機能及び設備</th> </tr> <tr> <th>タイプ</th> <th>分割対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>最大 会議室</td> <td>グランドボールルーム</td> <td>約6,480～7,800㎡</td> <td>6,480㎡</td> <td>平土間</td> <td>分割可</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td rowspan="8">中小 会議室</td> <td>プレジデンシャル・ ボールルーム</td> <td rowspan="8">約6,480～7,800㎡</td> <td rowspan="8">6,480㎡</td> <td rowspan="8">平土間</td> <td rowspan="8">1室概ね1,000㎡以上の会議室は分割可とする。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ジュニアヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>多目的室（ラージ）</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>多目的室（ミディアム）</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>多目的室（スモール）</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>エグゼクティブ・ボードルーム</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ボードルーム</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>VIP会議室</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>約12,960～15,600㎡※</td> <td>12,960㎡</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1室あたりの床面積については、今後の設計の進捗に伴い国際会議場施設の床面積の合計（約12,960～15,600㎡）の範囲で変更が生じる可能性がある。</p> <p>3. 設置及び運営の方針</p> <p>(1) 設置方針</p> <p>c. 中小規模の会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体総会後の分科会ニーズに対応するため、多様な中小会議室を設置する。 中小会議室を<u>一か所に</u>配置することで、来場者の移動負荷の軽減のみならず、効率的なサービス提供ができる。 	NO.	種類	会議室名称	床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	室ごとの導入機能及び設備		タイプ	分割対応	1	最大 会議室	グランドボールルーム	約6,480～7,800㎡	6,480㎡	平土間	分割可	2	中小 会議室	プレジデンシャル・ ボールルーム	約6,480～7,800㎡	6,480㎡	平土間	1室概ね1,000㎡以上の会議室は分割可とする。	3	ヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム	4	ジュニアヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム	5	多目的室（ラージ）	6	多目的室（ミディアム）	7	多目的室（スモール）	8	エグゼクティブ・ボードルーム	9	ボードルーム	10	VIP会議室	合計			約12,960～15,600㎡※	12,960㎡			<p>① 国際会議場施設の種類、機能、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針</p> <p>1. 国際会議場施設の種類、機能</p> <table border="1" data-bbox="1611 331 2795 997"> <thead> <tr> <th rowspan="2">NO.</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">会議室名称</th> <th rowspan="2">床面積 (計画値)</th> <th rowspan="2">床面積 (暫定計画値)</th> <th colspan="2">室ごとの導入機能及び設備</th> </tr> <tr> <th>タイプ</th> <th>分割対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>最大 会議室</td> <td>グランドボールルーム</td> <td>約6,480～7,800㎡</td> <td>6,548㎡</td> <td>平土間</td> <td>分割可</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td rowspan="8">中小 会議室</td> <td>プレジデンシャル・ ボールルーム</td> <td rowspan="8">約6,480～7,800㎡</td> <td rowspan="8">6,552㎡</td> <td rowspan="8">平土間</td> <td rowspan="8">1室概ね1,000㎡以上の会議室は分割可とする。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ジュニアヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>会議室（ラージ）</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>会議室（ミディアム）</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>会議室（スモール）</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>会議室（ビジネスセンター）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>約12,960～15,600㎡※</td> <td>13,099㎡</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1室あたりの床面積については、今後の設計の進捗に伴い国際会議場施設の床面積の合計（約12,960～15,600㎡）の範囲で変更が生じる可能性がある。</p> <p>3. 設置及び運営の方針</p> <p>(1) 設置方針</p> <p>c. 中小規模の会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体総会後の分科会ニーズに対応するため、多様な中小会議室を設置する。 中小会議室を<u>各階に</u>集約して配置することで、来場者の移動負荷の軽減のみならず、効率的なサービス提供ができる。 	NO.	種類	会議室名称	床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	室ごとの導入機能及び設備		タイプ	分割対応	1	最大 会議室	グランドボールルーム	約6,480～7,800㎡	6,548㎡	平土間	分割可	2	中小 会議室	プレジデンシャル・ ボールルーム	約6,480～7,800㎡	6,552㎡	平土間	1室概ね1,000㎡以上の会議室は分割可とする。	3	ヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム	4	ジュニアヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム	5	会議室（ラージ）	6	会議室（ミディアム）	7	会議室（スモール）	8	会議室（ビジネスセンター）	合計			約12,960～15,600㎡※	13,099㎡		
NO.	種類	会議室名称						床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	室ごとの導入機能及び設備																																																																																	
			タイプ	分割対応																																																																																							
1	最大 会議室	グランドボールルーム	約6,480～7,800㎡	6,480㎡	平土間	分割可																																																																																					
2	中小 会議室	プレジデンシャル・ ボールルーム	約6,480～7,800㎡	6,480㎡	平土間	1室概ね1,000㎡以上の会議室は分割可とする。																																																																																					
3		ヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム																																																																																									
4		ジュニアヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム																																																																																									
5		多目的室（ラージ）																																																																																									
6		多目的室（ミディアム）																																																																																									
7		多目的室（スモール）																																																																																									
8		エグゼクティブ・ボードルーム																																																																																									
9		ボードルーム																																																																																									
10	VIP会議室																																																																																										
合計			約12,960～15,600㎡※	12,960㎡																																																																																							
NO.	種類	会議室名称	床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	室ごとの導入機能及び設備																																																																																						
					タイプ	分割対応																																																																																					
1	最大 会議室	グランドボールルーム	約6,480～7,800㎡	6,548㎡	平土間	分割可																																																																																					
2	中小 会議室	プレジデンシャル・ ボールルーム	約6,480～7,800㎡	6,552㎡	平土間	1室概ね1,000㎡以上の会議室は分割可とする。																																																																																					
3		ヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム																																																																																									
4		ジュニアヴァイスプレジデンシャル・ボールルーム																																																																																									
5		会議室（ラージ）																																																																																									
6		会議室（ミディアム）																																																																																									
7		会議室（スモール）																																																																																									
8		会議室（ビジネスセンター）																																																																																									
合計							約12,960～15,600㎡※	13,099㎡																																																																																			

NO.	様式	区域整備計画 (2025年5月9日)	区域整備計画 (2025年9月12日)																																																																				
8	評価基準 6	<p>② 展示等施設の種類の種類、機能、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針</p> <p>1. 展示等施設の規模・種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">NO.</th> <th rowspan="2">展示ホールの名称</th> <th colspan="6">床面積・仕様</th> </tr> <tr> <th>床面積 (計画値)</th> <th>床面積 (暫定計画値)</th> <th>ホール間 間仕切り</th> <th>アンカーボ ルト</th> <th>床耐荷重 (ピット部分除く)</th> <th>高さ (梁下)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ホールA</td> <td>約10,000～ 12,000㎡</td> <td>10,000㎡</td> <td rowspan="2">可動式</td> <td rowspan="2">打設可能</td> <td rowspan="2">2 t/㎡以上</td> <td rowspan="2">8 m以上</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ホールB</td> <td>約10,000～ 12,000㎡</td> <td>10,000㎡</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>約20,000～ 24,000㎡</td> <td>20,000㎡</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table>	NO.	展示ホールの名称	床面積・仕様						床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	ホール間 間仕切り	アンカーボ ルト	床耐荷重 (ピット部分除く)	高さ (梁下)	1	ホールA	約10,000～ 12,000㎡	10,000㎡	可動式	打設可能	2 t/㎡以上	8 m以上	2	ホールB	約10,000～ 12,000㎡	10,000㎡	合計		約20,000～ 24,000㎡	20,000㎡					<p>② 展示等施設の種類の種類、機能、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針</p> <p>1. 展示等施設の規模・種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">NO.</th> <th rowspan="2">展示ホールの名称</th> <th colspan="6">床面積・仕様</th> </tr> <tr> <th>床面積 (計画値)</th> <th>床面積 (暫定計画値)</th> <th>ホール間 間仕切り</th> <th>アンカーボ ルト</th> <th>床耐荷重 (ピット部分除く)</th> <th>高さ (梁下)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ホールA</td> <td>約9,800～ 12,000㎡</td> <td>9,884㎡</td> <td rowspan="2">可動式</td> <td rowspan="2">打設可能</td> <td rowspan="2">2 t/㎡以上</td> <td rowspan="2">8 m以上</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ホールB</td> <td>約10,000～ 12,000㎡</td> <td>10,167㎡</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>約19,800～ 24,000㎡</td> <td>20,051㎡</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table>	NO.	展示ホールの名称	床面積・仕様						床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	ホール間 間仕切り	アンカーボ ルト	床耐荷重 (ピット部分除く)	高さ (梁下)	1	ホールA	約9,800～ 12,000㎡	9,884㎡	可動式	打設可能	2 t/㎡以上	8 m以上	2	ホールB	約10,000～ 12,000㎡	10,167㎡	合計		約19,800～ 24,000㎡	20,051㎡				
NO.	展示ホールの名称	床面積・仕様																																																																					
		床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	ホール間 間仕切り	アンカーボ ルト	床耐荷重 (ピット部分除く)	高さ (梁下)																																																																
1	ホールA	約10,000～ 12,000㎡	10,000㎡	可動式	打設可能	2 t/㎡以上	8 m以上																																																																
2	ホールB	約10,000～ 12,000㎡	10,000㎡																																																																				
合計		約20,000～ 24,000㎡	20,000㎡																																																																				
NO.	展示ホールの名称	床面積・仕様																																																																					
		床面積 (計画値)	床面積 (暫定計画値)	ホール間 間仕切り	アンカーボ ルト	床耐荷重 (ピット部分除く)	高さ (梁下)																																																																
1	ホールA	約9,800～ 12,000㎡	9,884㎡	可動式	打設可能	2 t/㎡以上	8 m以上																																																																
2	ホールB	約10,000～ 12,000㎡	10,167㎡																																																																				
合計		約19,800～ 24,000㎡	20,051㎡																																																																				
9	評価基準 8	<p>① 魅力増進施設の種類の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針</p> <p>2. 魅力増進施設の種類の種類、機能、規模</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名称</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">機能</th> <th colspan="2">規模</th> </tr> <tr> <th>延床面積 (計画値)</th> <th>延床面積 (暫定計画値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガーデンシアター</td> <td>劇場</td> <td>参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：舞台・音響・照明等の演出用設備</td> <td>約910～1,400㎡</td> <td>1,018㎡</td> </tr> <tr> <td>三道体験スタジオ</td> <td>その他の施設 (伝統文化等の 展示場)</td> <td>参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：音響・照明・映像等の演出用設備</td> <td>約460～680㎡</td> <td>520㎡</td> </tr> <tr> <td>ジャパン・フードパビリオン</td> <td>レストラン (飲食施設)</td> <td>飲食機能、参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：厨房設備</td> <td>約7,300～9,100㎡</td> <td>8,220㎡</td> </tr> <tr> <td>関西ジャパンハウス</td> <td>その他の施設 (工芸体験・物 販施設)</td> <td>リテール・カフェ機能、ワークショップ機能、情報発信機能 主な設備：工芸品制作用の工作機器</td> <td>約450～660㎡</td> <td>505㎡</td> </tr> <tr> <td>関西アート&カルチャーミュージアム</td> <td>美術館</td> <td>ギャラリー機能、物販機能 主な設備：吊り物等の展示用設備</td> <td>約790～1,200㎡</td> <td>887㎡</td> </tr> </tbody> </table>	施設名称	種類	機能	規模		延床面積 (計画値)	延床面積 (暫定計画値)	ガーデンシアター	劇場	参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：舞台・音響・照明等の演出用設備	約910～1,400㎡	1,018㎡	三道体験スタジオ	その他の施設 (伝統文化等の 展示場)	参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：音響・照明・映像等の演出用設備	約460～680㎡	520㎡	ジャパン・フードパビリオン	レストラン (飲食施設)	飲食機能、参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：厨房設備	約7,300～9,100㎡	8,220㎡	関西ジャパンハウス	その他の施設 (工芸体験・物 販施設)	リテール・カフェ機能、ワークショップ機能、情報発信機能 主な設備：工芸品制作用の工作機器	約450～660㎡	505㎡	関西アート&カルチャーミュージアム	美術館	ギャラリー機能、物販機能 主な設備：吊り物等の展示用設備	約790～1,200㎡	887㎡	<p>① 魅力増進施設の種類の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針</p> <p>2. 魅力増進施設の種類の種類、機能、規模</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名称</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">機能</th> <th colspan="2">規模</th> </tr> <tr> <th>延床面積 (計画値)</th> <th>延床面積 (暫定計画値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガーデンシアター</td> <td>劇場</td> <td>参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：舞台・音響・照明等の演出用設備</td> <td>約910～1,400㎡</td> <td>1,400㎡</td> </tr> <tr> <td>三道体験スタジオ</td> <td>その他の施設 (伝統文化等の 展示場)</td> <td>参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：音響・照明・映像等の演出用設備</td> <td>約460～680㎡</td> <td>679㎡</td> </tr> <tr> <td>ジャパン・フードパビリオン</td> <td>レストラン (飲食施設)</td> <td>飲食機能、参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：厨房設備</td> <td>約7,300～9,100㎡</td> <td>8,661㎡</td> </tr> <tr> <td>関西ジャパンハウス</td> <td>その他の施設 (工芸体験・物 販施設)</td> <td>リテール・カフェ機能、ワークショップ機能、情報発信機能 主な設備：工芸品制作用の工作機器</td> <td>約450～660㎡</td> <td>491㎡</td> </tr> <tr> <td>関西アート&カルチャーミュージアム</td> <td>美術館</td> <td>ギャラリー機能、物販機能 主な設備：吊り物等の展示用設備</td> <td>約790～1,200㎡</td> <td>933㎡</td> </tr> </tbody> </table>	施設名称	種類	機能	規模		延床面積 (計画値)	延床面積 (暫定計画値)	ガーデンシアター	劇場	参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：舞台・音響・照明等の演出用設備	約910～1,400㎡	1,400㎡	三道体験スタジオ	その他の施設 (伝統文化等の 展示場)	参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：音響・照明・映像等の演出用設備	約460～680㎡	679㎡	ジャパン・フードパビリオン	レストラン (飲食施設)	飲食機能、参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：厨房設備	約7,300～9,100㎡	8,661㎡	関西ジャパンハウス	その他の施設 (工芸体験・物 販施設)	リテール・カフェ機能、ワークショップ機能、情報発信機能 主な設備：工芸品制作用の工作機器	約450～660㎡	491㎡	関西アート&カルチャーミュージアム	美術館	ギャラリー機能、物販機能 主な設備：吊り物等の展示用設備	約790～1,200㎡	933㎡				
施設名称	種類	機能				規模																																																																	
			延床面積 (計画値)	延床面積 (暫定計画値)																																																																			
ガーデンシアター	劇場	参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：舞台・音響・照明等の演出用設備	約910～1,400㎡	1,018㎡																																																																			
三道体験スタジオ	その他の施設 (伝統文化等の 展示場)	参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：音響・照明・映像等の演出用設備	約460～680㎡	520㎡																																																																			
ジャパン・フードパビリオン	レストラン (飲食施設)	飲食機能、参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：厨房設備	約7,300～9,100㎡	8,220㎡																																																																			
関西ジャパンハウス	その他の施設 (工芸体験・物 販施設)	リテール・カフェ機能、ワークショップ機能、情報発信機能 主な設備：工芸品制作用の工作機器	約450～660㎡	505㎡																																																																			
関西アート&カルチャーミュージアム	美術館	ギャラリー機能、物販機能 主な設備：吊り物等の展示用設備	約790～1,200㎡	887㎡																																																																			
施設名称	種類	機能	規模																																																																				
			延床面積 (計画値)	延床面積 (暫定計画値)																																																																			
ガーデンシアター	劇場	参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：舞台・音響・照明等の演出用設備	約910～1,400㎡	1,400㎡																																																																			
三道体験スタジオ	その他の施設 (伝統文化等の 展示場)	参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：音響・照明・映像等の演出用設備	約460～680㎡	679㎡																																																																			
ジャパン・フードパビリオン	レストラン (飲食施設)	飲食機能、参加体験機能、イベント・プロモーション機能 主な設備：厨房設備	約7,300～9,100㎡	8,661㎡																																																																			
関西ジャパンハウス	その他の施設 (工芸体験・物 販施設)	リテール・カフェ機能、ワークショップ機能、情報発信機能 主な設備：工芸品制作用の工作機器	約450～660㎡	491㎡																																																																			
関西アート&カルチャーミュージアム	美術館	ギャラリー機能、物販機能 主な設備：吊り物等の展示用設備	約790～1,200㎡	933㎡																																																																			

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）																																																																																																						
10	評価基準 9	<p>① 送客施設の種類の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針</p> <p>1. 送客施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪 I R から大阪・関西及び日本各地に観光客を送り出すため、大阪・関西を中心に最新の交通・観光情報を紹介する質の高いショーケース機能と、旅行の企画・提案・手配をワンストップサービスで提供するコンシェルジュ機能を有した関西ツーリズムセンターを整備する。 来訪者の需要や数の想定を踏まえ、旅行者に必要なサービスの提供に十分な規模を備えることで、I R 来訪者の他地域への送客をめざす。 関西ツーリズムセンターに近接して大規模なバスターミナルを整備するとともに、海に囲まれた立地を活かし、I R 区域北側の海沿いに小型旅客船等の乗客が利用するフェリーターミナル（係留施設を併設）を整備することで、来訪者の夢洲から大阪内外へのアクセス機能を補強する。 <p>2. 送客施設の種類の種類、機能、規模</p> <p>(1) 関西ツーリズムセンター</p> <p>b. 規模（床面積）</p> <table border="1" data-bbox="388 825 1498 1178"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機能区分</th> <th rowspan="2">規模（床面積）</th> <th colspan="3">暫定計画値</th> </tr> <tr> <th>規模（床面積）※</th> <th>対面による情報提供及びサービスの手配のための設備の規模（床面積）※</th> <th>待合の用に供する設備の規模（床面積）※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ショーケース機能</td> <td>約 360～520 m²</td> <td>400 m²</td> <td>100 m²</td> <td>300 m²</td> </tr> <tr> <td>コンシェルジュ機能</td> <td>約 180～260 m²</td> <td>200 m²</td> <td>110 m²</td> <td>90 m²</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>約 140～210 m²</td> <td>158 m²</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>送客施設全体床面積</td> <td>約 680～990 m²</td> <td>758 m²</td> <td>210 m²</td> <td>390 m²</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 機能区分別及び各設備別の床面積については、送客施設の合計床面積（680～990m²）の範囲で変動が生じる可能性がある。</p> <p>c. 規模（収容人員）</p> <table border="1" data-bbox="388 1304 1059 1423"> <thead> <tr> <th>機能区分</th> <th>利用シーン 収容人員</th> <th>消防法 収容人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>送客施設全体</td> <td>151 人</td> <td>190 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) バスターミナル及びフェリーターミナル</p> <table border="1" data-bbox="388 1499 1484 1698"> <thead> <tr> <th>機能区分</th> <th>施設の名称</th> <th>規模（床面積）</th> <th>暫定計画値（床面積）</th> <th>利用シーン 収容人員</th> <th>消防法 収容人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">交通機能</td> <td>バスターミナル</td> <td>1 か所：約 10,100～12,500 m²</td> <td>11,284 m²</td> <td>138 人</td> <td>911 人</td> </tr> <tr> <td>フェリーターミナル（係留施設を併設）</td> <td>1 か所：約 1,100～1,800 m²</td> <td>1,331 m²</td> <td>66 人</td> <td>333 人</td> </tr> </tbody> </table>	機能区分	規模（床面積）	暫定計画値			規模（床面積）※	対面による情報提供及びサービスの手配のための設備の規模（床面積）※	待合の用に供する設備の規模（床面積）※	ショーケース機能	約 360～520 m ²	400 m ²	100 m ²	300 m ²	コンシェルジュ機能	約 180～260 m ²	200 m ²	110 m ²	90 m ²	その他	約 140～210 m ²	158 m ²	—	—	送客施設全体床面積	約 680～990 m ²	758 m ²	210 m ²	390 m ²	機能区分	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員	送客施設全体	151 人	190 人	機能区分	施設の名称	規模（床面積）	暫定計画値（床面積）	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員	交通機能	バスターミナル	1 か所：約 10,100～12,500 m ²	11,284 m ²	138 人	911 人	フェリーターミナル（係留施設を併設）	1 か所：約 1,100～1,800 m ²	1,331 m ²	66 人	333 人	<p>① 送客施設の種類の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針</p> <p>1. 送客施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪 I R から大阪・関西及び日本各地に観光客を送り出すため、大阪・関西を中心に最新の交通・観光情報を紹介する質の高いショーケース機能と、旅行の企画・提案・手配をワンストップサービスで提供するコンシェルジュ機能を有した関西ツーリズムセンターを整備する。 来訪者の需要や数の想定を踏まえ、旅行者に必要なサービスの提供に十分な規模を備えることで、I R 来訪者の他地域への送客をめざす。 関西ツーリズムセンターに近接して大規模なバスターミナルを整備するとともに、海に囲まれた立地を活かし、I R 区域北側の海沿いに小型旅客船等の乗客が利用するフェリーターミナルを整備し、大阪市が整備した公共浮棧橋等を一体活用することで、来訪者の夢洲から大阪内外へのアクセス機能を補強する。 <p>2. 送客施設の種類の種類、機能、規模</p> <p>(1) 関西ツーリズムセンター</p> <p>b. 規模（床面積）</p> <table border="1" data-bbox="1638 825 2748 1178"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機能区分</th> <th rowspan="2">規模（床面積）</th> <th colspan="3">暫定計画値</th> </tr> <tr> <th>規模（床面積）※</th> <th>対面による情報提供及びサービスの手配のための設備の規模（床面積）※</th> <th>待合の用に供する設備の規模（床面積）※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ショーケース機能</td> <td>約 360～520 m²</td> <td>395 m²</td> <td>89 m²</td> <td>309 m²</td> </tr> <tr> <td>コンシェルジュ機能</td> <td>約 180～260 m²</td> <td>186 m²</td> <td>100 m²</td> <td>88 m²</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>約 140～210 m²</td> <td>154 m²</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>送客施設全体床面積</td> <td>約 680～990 m²</td> <td>735 m²</td> <td>189 m²</td> <td>397 m²</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 機能区分別及び各設備別の床面積については、送客施設の合計床面積（680～990m²）の範囲で変動が生じる可能性がある。</p> <p>c. 規模（収容人員）</p> <table border="1" data-bbox="1638 1304 2309 1423"> <thead> <tr> <th>機能区分</th> <th>利用シーン 収容人員</th> <th>消防法 収容人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>送客施設全体</td> <td>151 人</td> <td>60 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) バスターミナル及びフェリーターミナル</p> <table border="1" data-bbox="1638 1499 2733 1680"> <thead> <tr> <th>機能区分</th> <th>施設の名称</th> <th>規模（床面積）</th> <th>暫定計画値（床面積）</th> <th>利用シーン 収容人員</th> <th>消防法 収容人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">交通機能</td> <td>バスターミナル</td> <td>1 か所：約 10,100～12,500 m²</td> <td>10,450 m²</td> <td>138 人</td> <td>171 人</td> </tr> <tr> <td>フェリーターミナル</td> <td>1 か所：約 1,100～1,800 m²</td> <td>1,161 m²</td> <td>66 人</td> <td>112 人</td> </tr> </tbody> </table>	機能区分	規模（床面積）	暫定計画値			規模（床面積）※	対面による情報提供及びサービスの手配のための設備の規模（床面積）※	待合の用に供する設備の規模（床面積）※	ショーケース機能	約 360～520 m ²	395 m ²	89 m ²	309 m ²	コンシェルジュ機能	約 180～260 m ²	186 m ²	100 m ²	88 m ²	その他	約 140～210 m ²	154 m ²	—	—	送客施設全体床面積	約 680～990 m ²	735 m ²	189 m ²	397 m ²	機能区分	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員	送客施設全体	151 人	60 人	機能区分	施設の名称	規模（床面積）	暫定計画値（床面積）	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員	交通機能	バスターミナル	1 か所：約 10,100～12,500 m ²	10,450 m ²	138 人	171 人	フェリーターミナル	1 か所：約 1,100～1,800 m ²	1,161 m ²	66 人	112 人
機能区分	規模（床面積）	暫定計画値																																																																																																							
		規模（床面積）※	対面による情報提供及びサービスの手配のための設備の規模（床面積）※	待合の用に供する設備の規模（床面積）※																																																																																																					
ショーケース機能	約 360～520 m ²	400 m ²	100 m ²	300 m ²																																																																																																					
コンシェルジュ機能	約 180～260 m ²	200 m ²	110 m ²	90 m ²																																																																																																					
その他	約 140～210 m ²	158 m ²	—	—																																																																																																					
送客施設全体床面積	約 680～990 m ²	758 m ²	210 m ²	390 m ²																																																																																																					
機能区分	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員																																																																																																							
送客施設全体	151 人	190 人																																																																																																							
機能区分	施設の名称	規模（床面積）	暫定計画値（床面積）	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員																																																																																																				
交通機能	バスターミナル	1 か所：約 10,100～12,500 m ²	11,284 m ²	138 人	911 人																																																																																																				
	フェリーターミナル（係留施設を併設）	1 か所：約 1,100～1,800 m ²	1,331 m ²	66 人	333 人																																																																																																				
機能区分	規模（床面積）	暫定計画値																																																																																																							
		規模（床面積）※	対面による情報提供及びサービスの手配のための設備の規模（床面積）※	待合の用に供する設備の規模（床面積）※																																																																																																					
ショーケース機能	約 360～520 m ²	395 m ²	89 m ²	309 m ²																																																																																																					
コンシェルジュ機能	約 180～260 m ²	186 m ²	100 m ²	88 m ²																																																																																																					
その他	約 140～210 m ²	154 m ²	—	—																																																																																																					
送客施設全体床面積	約 680～990 m ²	735 m ²	189 m ²	397 m ²																																																																																																					
機能区分	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員																																																																																																							
送客施設全体	151 人	60 人																																																																																																							
機能区分	施設の名称	規模（床面積）	暫定計画値（床面積）	利用シーン 収容人員	消防法 収容人員																																																																																																				
交通機能	バスターミナル	1 か所：約 10,100～12,500 m ²	10,450 m ²	138 人	171 人																																																																																																				
	フェリーターミナル	1 か所：約 1,100～1,800 m ²	1,161 m ²	66 人	112 人																																																																																																				

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）																																																																												
		<p>4. 設置及び運営の方針</p> <p>(2) 導入機能</p> <p>c. 交通機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 関西の交通事業者等との連携により、I Rを起点とした多様なバス及び海上アクセスルートの構築を可能にするバスターミナル、フェリーターミナル及び係留施設を整備する。 	<p>4. 設置及び運営の方針</p> <p>(2) 導入機能</p> <p>c. 交通機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 関西の交通事業者等との連携により、I Rを起点とした多様なバス及び海上アクセスルートの構築を可能にするバスターミナル、フェリーターミナルを整備する。 																																																																												
11	評価基準 10	<p>① 宿泊施設の種類、外観及び内装の特徴、設置および運営の方針</p> <p>3. 設置及び運営の方針</p> <p>(2) レンタブル比</p> <table border="1" data-bbox="388 653 1457 762"> <thead> <tr> <th>宿泊施設名</th> <th>MGM大阪・MGM大阪ヴィラ^{※2}</th> <th>MUSUBIホテル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レンタブル比^{※1}</td> <td>約52～64%</td> <td>約50～61%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 宿泊施設に該当する延床面積に対する客室面積のみの割合を示す。 ※2 同一建物</p> <p>② 宿泊施設の機能</p> <p>1. 宿泊施設の機能</p> <p>(3) 施設構成（客室以外の機能の床面積）</p> <table border="1" data-bbox="388 1026 1513 1339"> <thead> <tr> <th>宿泊施設名</th> <th>料飲^{※1}</th> <th>バンケット</th> <th>スパ</th> <th>屋外プール^{※2}</th> <th>フィットネス</th> <th>各機能の合計</th> <th>各機能の合計 (暫定計画値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MGM大阪</td> <td>約2,312㎡</td> <td>0㎡</td> <td>約1,925㎡</td> <td>約2,127㎡</td> <td>約3,209㎡</td> <td>約7,600㎡ ～11,500㎡^{※3}</td> <td>9,573㎡</td> </tr> <tr> <td>MGM大阪ヴィラ</td> <td>0㎡</td> <td>0㎡</td> <td>0㎡</td> <td>0㎡</td> <td>0㎡</td> <td>0㎡</td> <td>0㎡</td> </tr> <tr> <td>MUSUBIホテル</td> <td>約2,246㎡</td> <td>約533㎡</td> <td>約1,289㎡</td> <td>約2,744㎡</td> <td>約819㎡</td> <td>約6,100㎡ ～9,200㎡^{※4}</td> <td>7,631㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 各宿泊施設に宿泊するゲストの利用が主に見込まれるレストラン、バー及びラウンジを対象として計上 ※2 屋外プールの面積は延床面積に含まない。 ※3 機能別の面積については、今後の設計の進捗に伴いMGM大阪における各機能の合計（約7,600～11,500㎡）の範囲で変更が生じる可能性がある。 ※4 機能別の面積については、今後の設計の進捗に伴いMUSUBIホテルにおける各機能の合計（約6,100～9,200㎡）の範囲で変更が生じる可能性がある。</p>	宿泊施設名	MGM大阪・MGM大阪ヴィラ ^{※2}	MUSUBIホテル	レンタブル比 ^{※1}	約52～64%	約50～61%	宿泊施設名	料飲 ^{※1}	バンケット	スパ	屋外プール ^{※2}	フィットネス	各機能の合計	各機能の合計 (暫定計画値)	MGM大阪	約2,312㎡	0㎡	約1,925㎡	約2,127㎡	約3,209㎡	約7,600㎡ ～11,500㎡ ^{※3}	9,573㎡	MGM大阪ヴィラ	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	MUSUBIホテル	約2,246㎡	約533㎡	約1,289㎡	約2,744㎡	約819㎡	約6,100㎡ ～9,200㎡ ^{※4}	7,631㎡	<p>① 宿泊施設の種類、外観及び内装の特徴、設置および運営の方針</p> <p>3. 設置及び運営の方針</p> <p>(2) レンタブル比</p> <table border="1" data-bbox="1638 653 2706 762"> <thead> <tr> <th>宿泊施設名</th> <th>MGM大阪・MGM大阪ヴィラ^{※2}</th> <th>MUSUBIホテル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レンタブル比^{※1}</td> <td>約63%</td> <td>約56%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 宿泊施設に該当する延床面積に対する客室面積のみの割合を示す。 ※2 同一建物</p> <p>② 宿泊施設の機能</p> <p>1. 宿泊施設の機能</p> <p>(3) 施設構成（客室以外の機能の床面積）</p> <table border="1" data-bbox="1638 1026 2763 1339"> <thead> <tr> <th>宿泊施設名</th> <th>料飲^{※1}</th> <th>バンケット</th> <th>スパ</th> <th>屋外プール^{※2}</th> <th>フィットネス</th> <th>各機能の合計</th> <th>各機能の合計 (暫定計画値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MGM大阪</td> <td>約1,699㎡</td> <td>0㎡</td> <td>約4,141㎡</td> <td>0㎡</td> <td>約467㎡</td> <td>約6,300㎡ ～11,500㎡^{※3}</td> <td>6,307㎡</td> </tr> <tr> <td>MGM大阪ヴィラ</td> <td>0㎡</td> <td>0㎡</td> <td>0㎡</td> <td>0㎡</td> <td>0㎡</td> <td>0㎡</td> <td>0㎡</td> </tr> <tr> <td>MUSUBIホテル</td> <td>約3,168㎡</td> <td>約730㎡</td> <td>約2,798㎡</td> <td>約2,682㎡</td> <td>約1,533㎡</td> <td>約6,100㎡ ～11,000㎡^{※4}</td> <td>10,911㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 各宿泊施設に宿泊するゲストの利用が主に見込まれるレストラン、バー及びラウンジを対象として計上 ※2 屋外プールの面積は延床面積に含まない。 ※3 機能別の面積については、今後の設計の進捗に伴いMGM大阪における各機能の合計（約6,300～11,500㎡）の範囲で変更が生じる可能性がある。 ※4 機能別の面積については、今後の設計の進捗に伴いMUSUBIホテルにおける各機能の合計（約6,100～11,000㎡）の範囲で変更が生じる可能性がある。</p>	宿泊施設名	MGM大阪・MGM大阪ヴィラ ^{※2}	MUSUBIホテル	レンタブル比 ^{※1}	約63%	約56%	宿泊施設名	料飲 ^{※1}	バンケット	スパ	屋外プール ^{※2}	フィットネス	各機能の合計	各機能の合計 (暫定計画値)	MGM大阪	約1,699㎡	0㎡	約4,141㎡	0㎡	約467㎡	約6,300㎡ ～11,500㎡ ^{※3}	6,307㎡	MGM大阪ヴィラ	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	MUSUBIホテル	約3,168㎡	約730㎡	約2,798㎡	約2,682㎡	約1,533㎡	約6,100㎡ ～11,000㎡ ^{※4}	10,911㎡
宿泊施設名	MGM大阪・MGM大阪ヴィラ ^{※2}	MUSUBIホテル																																																																													
レンタブル比 ^{※1}	約52～64%	約50～61%																																																																													
宿泊施設名	料飲 ^{※1}	バンケット	スパ	屋外プール ^{※2}	フィットネス	各機能の合計	各機能の合計 (暫定計画値)																																																																								
MGM大阪	約2,312㎡	0㎡	約1,925㎡	約2,127㎡	約3,209㎡	約7,600㎡ ～11,500㎡ ^{※3}	9,573㎡																																																																								
MGM大阪ヴィラ	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡																																																																								
MUSUBIホテル	約2,246㎡	約533㎡	約1,289㎡	約2,744㎡	約819㎡	約6,100㎡ ～9,200㎡ ^{※4}	7,631㎡																																																																								
宿泊施設名	MGM大阪・MGM大阪ヴィラ ^{※2}	MUSUBIホテル																																																																													
レンタブル比 ^{※1}	約63%	約56%																																																																													
宿泊施設名	料飲 ^{※1}	バンケット	スパ	屋外プール ^{※2}	フィットネス	各機能の合計	各機能の合計 (暫定計画値)																																																																								
MGM大阪	約1,699㎡	0㎡	約4,141㎡	0㎡	約467㎡	約6,300㎡ ～11,500㎡ ^{※3}	6,307㎡																																																																								
MGM大阪ヴィラ	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡																																																																								
MUSUBIホテル	約3,168㎡	約730㎡	約2,798㎡	約2,682㎡	約1,533㎡	約6,100㎡ ～11,000㎡ ^{※4}	10,911㎡																																																																								

12 評価基準 10

③ 宿泊施設の規模

1. 宿泊施設の規模、客室ごとの収容人員
(1) 客室ごとの床面積及び収容人員

客室タイプ※1	MGM大阪		MGM大阪ヴィラ			MUSUBIホテル			
	床面積 (㎡)	収容人員※2 (人)	床面積 (㎡)	収容人員※2 (人)	床面積 (㎡)	収容人員※2 (人)	床面積 (㎡)	収容人員※2 (人)	
スタンダード	約45～60	4	4	-	-	-	約30～45	4	4
スイート	約70～85	6	6	-	-	-	約65～85	4	4
ラグジュアリー	約185～230	6	6	約400～490	8	8	約100～125	4	4
平均	約65～85	-	-	約440～545	-	-	約35～50	-	-

※1 代表的な客室タイプを記載
※2 左欄は利用シーン収容人員、右欄は消防法収容人員

(2) 全ての客室の合計床面積、客室のうち最小のもの床面積、スイートルームの最小面積・割合

宿泊施設名	客室全体				スイート客室		
	総客室	総客室面積	平均客室床面積	最低客室床面積	平均客室床面積	最低客室床面積	割合
MGM大阪	約1,740～2,020室	約127,400～147,600㎡	約65～85㎡	約45～60㎡	約100～130㎡	約70～85㎡	約20%以上
	(暫定計画値) 1,830室	(暫定計画値) 134,162㎡					
MGM大阪ヴィラ	約10室	約4,700～5,500㎡	約440～545㎡	約400～490㎡	約440～545㎡	約400～490㎡	100%
	(暫定計画値) 10室	(暫定計画値) 4,937㎡					
MUSUBIホテル	約630～725室	約26,500～30,700㎡	約35～50㎡	約30～45㎡	約70～90㎡	約65～85㎡	約2%以上
	(暫定計画値) 660室	(暫定計画値) 27,919㎡					
合計	約2,375～2,760室	約158,600～183,800㎡	平均約60～75㎡	-	平均約105～135㎡	-	約20%以上
	(暫定計画値) 計2,500室	(暫定計画値) 計167,018㎡					

③ 宿泊施設の規模

1. 宿泊施設の規模、客室ごとの収容人員
(1) 客室ごとの床面積及び収容人員

客室タイプ※1	MGM大阪		MGM大阪ヴィラ			MUSUBIホテル			
	床面積 (㎡)	収容人員※2 (人)	床面積 (㎡)	収容人員※2 (人)	床面積 (㎡)	収容人員※2 (人)	床面積 (㎡)	収容人員※2 (人)	
スタンダード	約49～55	4	4	-	-	-	約37～54	4	2～4
スイート	約99～160	6	6	-	-	-	約65～77	4	4
ラグジュアリー	約197～660	6	6	約447～684	8	8	約85～150	4	4
平均	約73	-	-	約535	-	-	約40	-	-

※1 代表的な客室タイプを記載
※2 左欄は利用シーン収容人員、右欄は消防法収容人員

(2) 全ての客室の合計床面積、客室のうち最小のもの床面積、スイートルームの最小面積・割合

宿泊施設名	客室全体				スイート客室		
	総客室	総客室面積	平均客室床面積	最低客室床面積	平均客室床面積	最低客室床面積	割合
MGM大阪	約1,740～2,020室	約127,400～147,600㎡	約65～85㎡	約45～60㎡	約110～140㎡	約70～100㎡	約20%以上
	(暫定計画値) 1,829室	(暫定計画値) 133,471㎡					
MGM大阪ヴィラ	約10室	約4,700～5,500㎡	約440～545㎡	約400～490㎡	約440～545㎡	約400～490㎡	100%
	(暫定計画値) 10室	(暫定計画値) 5,347㎡					
MUSUBIホテル	約630～725室	約26,500～30,700㎡	約35～50㎡	約30～45㎡	約70～90㎡	約65～85㎡	約2%以上
	(暫定計画値) 660室	(暫定計画値) 26,527㎡					
合計	約2,375～2,760室	約158,600～183,800㎡	平均約60～75㎡	-	平均約105～150㎡	-	約20%以上
	(暫定計画値) 計2,499室	(暫定計画値) 計165,345㎡					

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）																																																																																																
13	評価基準 11	<p>① 宿泊施設の飲食サービス</p> <p>1. 設置予定の飲食施設</p> <p>(1) 宿泊施設に附帯する飲食施設</p> <ul style="list-style-type: none"> MGM大阪及びMUSUBIホテルの施設内に、下表のとおり、ビジネス・ファミリー・富裕層・長期滞在など国内外からの多様な来訪者ニーズに対応した複数の飲食施設を導入する。 <p style="text-align: center;">【図表1：宿泊施設に附帯する飲食施設※1】</p> <table border="1" data-bbox="385 499 1519 1276"> <thead> <tr> <th>宿泊施設名</th> <th>ジャンル</th> <th>ターゲット</th> <th>予算水準</th> <th>規模※2 (延床面積)</th> <th>延床面積 (暫定計画値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">MGM大阪</td> <td>バーラウンジ</td> <td>宿泊者、MICE参加者</td> <td>2,000円前後</td> <td rowspan="4">約1,800～ 2,800㎡</td> <td>720㎡</td> </tr> <tr> <td>カフェ</td> <td>スパを利用する宿泊者</td> <td>1,000円前後</td> <td>102㎡</td> </tr> <tr> <td>レストラン</td> <td>富裕層を中心とした大阪IRの全ての来訪者</td> <td>16,000円前後</td> <td>1,065㎡</td> </tr> <tr> <td>クラブラウンジ</td> <td>宿泊者</td> <td>4,000円前後</td> <td>425㎡</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">MUSUBIホテル</td> <td>バーラウンジ</td> <td>大阪IRの全ての来訪者</td> <td>2,000円前後</td> <td rowspan="5">約1,700～ 2,700㎡</td> <td>481㎡</td> </tr> <tr> <td>ブッフェ</td> <td>大阪IRの全ての来訪者</td> <td>4,000円前後</td> <td>743㎡</td> </tr> <tr> <td>軽食レストラン</td> <td>大阪IRの全ての来訪者</td> <td>1,000円前後</td> <td>134㎡</td> </tr> <tr> <td>レストラン</td> <td>大阪IRの全ての来訪者</td> <td>9,000円前後</td> <td>450㎡</td> </tr> <tr> <td>クラブラウンジ</td> <td>大阪IRの全ての来訪者</td> <td>2,000円前後</td> <td>438㎡</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>合計 2,312㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 飲食施設のジャンル、ターゲット、予算水準は、上記のコンセプトを踏まえつつ、今後の設計・施工過程及び来訪者ニーズや流行の変化を踏まえて一定変更する可能性がある。</p> <p>※2 飲食施設のジャンル別の延床面積については、今後の設計の進捗に伴いMGM大阪の飲食施設の合計（約1,800～2,800㎡）及びMUSUBIホテルの飲食施設の合計（約1,700～2,700㎡）それぞれの範囲で変更が生じる可能性がある。</p> <p>(4) レストラン以外での飲食サービスの提供方針</p> <ul style="list-style-type: none"> VIP向け最高級ホテルであるMGM大阪ヴィラやMGM大阪及びMUSUBIホテルには、ルームサービス用のキッチンを設置の上、客室において、多様な飲食ニーズを満たす高品質なルームサービスを提供する。 その他、宿泊者が客室内で手軽に飲食を楽しめるよう、<u>軽食レストラン</u>等ではテイクアウトに対応したサービスを提供する。 	宿泊施設名	ジャンル	ターゲット	予算水準	規模※2 (延床面積)	延床面積 (暫定計画値)	MGM大阪	バーラウンジ	宿泊者、MICE参加者	2,000円前後	約1,800～ 2,800㎡	720㎡	カフェ	スパを利用する宿泊者	1,000円前後	102㎡	レストラン	富裕層を中心とした大阪IRの全ての来訪者	16,000円前後	1,065㎡	クラブラウンジ	宿泊者	4,000円前後	425㎡	MUSUBIホテル	バーラウンジ	大阪IRの全ての来訪者	2,000円前後	約1,700～ 2,700㎡	481㎡	ブッフェ	大阪IRの全ての来訪者	4,000円前後	743㎡	軽食レストラン	大阪IRの全ての来訪者	1,000円前後	134㎡	レストラン	大阪IRの全ての来訪者	9,000円前後	450㎡	クラブラウンジ	大阪IRの全ての来訪者	2,000円前後	438㎡						合計 2,312㎡	<p>① 宿泊施設の飲食サービス</p> <p>1. 設置予定の飲食施設</p> <p>(1) 宿泊施設に附帯する飲食施設</p> <ul style="list-style-type: none"> MGM大阪及びMUSUBIホテルの施設内に、下表のとおり、ビジネス・ファミリー・富裕層・長期滞在など国内外からの多様な来訪者ニーズに対応した複数の飲食施設を導入する。 <p style="text-align: center;">【図表1：宿泊施設に附帯する飲食施設※1】</p> <table border="1" data-bbox="1638 499 2772 1123"> <thead> <tr> <th>宿泊施設名</th> <th>ジャンル</th> <th>ターゲット</th> <th>予算水準</th> <th>規模※2 (延床面積)</th> <th>延床面積 (暫定計画値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">MGM大阪</td> <td>バーラウンジ</td> <td>宿泊者、MICE参加者</td> <td>2,000円前後</td> <td rowspan="3">約1,600～ 2,800㎡</td> <td>418㎡</td> </tr> <tr> <td>カフェ</td> <td>スパを利用する宿泊者</td> <td>1,000円前後</td> <td>155㎡</td> </tr> <tr> <td>レストラン</td> <td>富裕層を中心とした大阪IRの全ての来訪者</td> <td>16,000円前後</td> <td>1,126㎡</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">MUSUBIホテル</td> <td>バーラウンジ</td> <td>大阪IRの全ての来訪者</td> <td>2,000円前後</td> <td rowspan="4">約1,700～ 3,200㎡</td> <td>465㎡</td> </tr> <tr> <td>ブッフェ</td> <td>大阪IRの全ての来訪者</td> <td>4,000円前後</td> <td>1,156㎡</td> </tr> <tr> <td>レストラン</td> <td>大阪IRの全ての来訪者</td> <td>9,000円前後</td> <td>758㎡</td> </tr> <tr> <td>ラウンジ</td> <td>大阪IRの全ての来訪者</td> <td>2,000円前後</td> <td>788㎡</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>合計 3,168㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 飲食施設のジャンル、ターゲット、予算水準は、上記のコンセプトを踏まえつつ、今後の設計・施工過程及び来訪者ニーズや流行の変化を踏まえて一定変更する可能性がある。</p> <p>※2 飲食施設のジャンル別の延床面積については、今後の設計の進捗に伴いMGM大阪の飲食施設の合計（約1,600～2,800㎡）及びMUSUBIホテルの飲食施設の合計（約1,700～3,200㎡）それぞれの範囲で変更が生じる可能性がある。</p> <p>(4) レストラン以外での飲食サービスの提供方針</p> <ul style="list-style-type: none"> VIP向け最高級ホテルであるMGM大阪ヴィラやMGM大阪及びMUSUBIホテルには、ルームサービス用のキッチンを設置の上、客室において、多様な飲食ニーズを満たす高品質なルームサービスを提供する。 その他、宿泊者が客室内で手軽に飲食を楽しめるよう、<u>バーラウンジ</u>等ではテイクアウトに対応したサービスを提供する。 	宿泊施設名	ジャンル	ターゲット	予算水準	規模※2 (延床面積)	延床面積 (暫定計画値)	MGM大阪	バーラウンジ	宿泊者、MICE参加者	2,000円前後	約1,600～ 2,800㎡	418㎡	カフェ	スパを利用する宿泊者	1,000円前後	155㎡	レストラン	富裕層を中心とした大阪IRの全ての来訪者	16,000円前後	1,126㎡	MUSUBIホテル	バーラウンジ	大阪IRの全ての来訪者	2,000円前後	約1,700～ 3,200㎡	465㎡	ブッフェ	大阪IRの全ての来訪者	4,000円前後	1,156㎡	レストラン	大阪IRの全ての来訪者	9,000円前後	758㎡	ラウンジ	大阪IRの全ての来訪者	2,000円前後	788㎡						合計 3,168㎡
宿泊施設名	ジャンル	ターゲット	予算水準	規模※2 (延床面積)	延床面積 (暫定計画値)																																																																																														
MGM大阪	バーラウンジ	宿泊者、MICE参加者	2,000円前後	約1,800～ 2,800㎡	720㎡																																																																																														
	カフェ	スパを利用する宿泊者	1,000円前後		102㎡																																																																																														
	レストラン	富裕層を中心とした大阪IRの全ての来訪者	16,000円前後		1,065㎡																																																																																														
	クラブラウンジ	宿泊者	4,000円前後		425㎡																																																																																														
MUSUBIホテル	バーラウンジ	大阪IRの全ての来訪者	2,000円前後	約1,700～ 2,700㎡	481㎡																																																																																														
	ブッフェ	大阪IRの全ての来訪者	4,000円前後		743㎡																																																																																														
	軽食レストラン	大阪IRの全ての来訪者	1,000円前後		134㎡																																																																																														
	レストラン	大阪IRの全ての来訪者	9,000円前後		450㎡																																																																																														
	クラブラウンジ	大阪IRの全ての来訪者	2,000円前後		438㎡																																																																																														
					合計 2,312㎡																																																																																														
宿泊施設名	ジャンル	ターゲット	予算水準	規模※2 (延床面積)	延床面積 (暫定計画値)																																																																																														
MGM大阪	バーラウンジ	宿泊者、MICE参加者	2,000円前後	約1,600～ 2,800㎡	418㎡																																																																																														
	カフェ	スパを利用する宿泊者	1,000円前後		155㎡																																																																																														
	レストラン	富裕層を中心とした大阪IRの全ての来訪者	16,000円前後		1,126㎡																																																																																														
MUSUBIホテル	バーラウンジ	大阪IRの全ての来訪者	2,000円前後	約1,700～ 3,200㎡	465㎡																																																																																														
	ブッフェ	大阪IRの全ての来訪者	4,000円前後		1,156㎡																																																																																														
	レストラン	大阪IRの全ての来訪者	9,000円前後		758㎡																																																																																														
	ラウンジ	大阪IRの全ての来訪者	2,000円前後		788㎡																																																																																														
					合計 3,168㎡																																																																																														

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）																																																																																																																																																																		
14	評価基準13	<p>① その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設の種類の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針</p> <p>2. エンターテイメント施設</p> <p>(1) エンターテイメント施設の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名称</th> <th>種類</th> <th>機能</th> <th>規模（計画値）</th> <th>規模（暫定計画値）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夢洲シアター</td> <td>劇場</td> <td>舞台・音響・照明等の演出機能</td> <td>延床面積： 12,000～14,700㎡</td> <td>延床面積： 13,338㎡</td> </tr> <tr> <td>結びの庭</td> <td>オープンスペース</td> <td>噴水、イベント会場等</td> <td>—</td> <td>広場面積： 2～4万㎡程度</td> </tr> <tr> <td>フェスティバルパーク</td> <td>オープンスペース</td> <td>イベント会場等</td> <td>—</td> <td rowspan="2">広場面積： 2～4万㎡程度</td> </tr> <tr> <td>イノベーションパーク</td> <td>オープンスペース</td> <td>イベント会場等</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 飲食施設</p> <p>(1) 飲食施設の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>種類</th> <th>機能</th> <th>規模（計画値）</th> <th>規模（暫定計画値）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ローカルパートナーダイニング、グローバルパートナーダイニング</td> <td>飲食施設</td> <td>飲食機能</td> <td>延床面積： 7,400～9,100㎡</td> <td>延床面積： 8,247㎡</td> </tr> <tr> <td>ジャズクラブ、サバークラブ、バーアレー等のナイトエンターテイメント施設</td> <td>飲食施設</td> <td>飲食機能、ライブ・パフォーマンス機能</td> <td>延床面積： 3,800～4,700㎡</td> <td>延床面積： 4,231㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 物販施設</p> <p>(1) 物販施設の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>NO.</th> <th>施設</th> <th>種類</th> <th>機能</th> <th>規模（計画値）</th> <th>規模（暫定計画値）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Luxuryリテール</td> <td>物販施設</td> <td>リテール機能</td> <td>延床面積： 44,500～54,500㎡</td> <td>延床面積：<u>49,472㎡</u></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>その他リテール</td> <td>物販施設</td> <td>リテール機能</td> <td>延床面積：370～540㎡</td> <td>延床面積：<u>415㎡</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>5. その他施設</p> <p>(1) その他施設の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>NO.</th> <th>施設</th> <th>種類</th> <th>機能</th> <th>規模（計画値）</th> <th>規模（暫定計画値）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>エネルギーセンター</td> <td>プラント</td> <td>エネルギー供給機能</td> <td>延床面積： 9,400～11,600㎡</td> <td>延床面積：<u>10,511㎡</u></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>駐車場</td> <td>駐車場</td> <td>駐車機能</td> <td>延床面積： 84,800～137,100㎡</td> <td>延床面積：<u>110,989㎡</u></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>共通バックヤード</td> <td>バックヤード</td> <td>バックヤード</td> <td>延床面積： 98,200～153,500㎡</td> <td>延床面積：<u>125,866㎡</u></td> </tr> </tbody> </table>	施設名称	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）	夢洲シアター	劇場	舞台・音響・照明等の演出機能	延床面積： 12,000～14,700㎡	延床面積： 13,338㎡	結びの庭	オープンスペース	噴水、イベント会場等	—	広場面積： 2～4万㎡程度	フェスティバルパーク	オープンスペース	イベント会場等	—	広場面積： 2～4万㎡程度	イノベーションパーク	オープンスペース	イベント会場等	—	施設	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）	ローカルパートナーダイニング、グローバルパートナーダイニング	飲食施設	飲食機能	延床面積： 7,400～9,100㎡	延床面積： 8,247㎡	ジャズクラブ、サバークラブ、バーアレー等のナイトエンターテイメント施設	飲食施設	飲食機能、ライブ・パフォーマンス機能	延床面積： 3,800～4,700㎡	延床面積： 4,231㎡	NO.	施設	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）	1	Luxuryリテール	物販施設	リテール機能	延床面積： 44,500～54,500㎡	延床面積： <u>49,472㎡</u>	2	その他リテール	物販施設	リテール機能	延床面積：370～540㎡	延床面積： <u>415㎡</u>	NO.	施設	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）	1	エネルギーセンター	プラント	エネルギー供給機能	延床面積： 9,400～11,600㎡	延床面積： <u>10,511㎡</u>	2	駐車場	駐車場	駐車機能	延床面積： 84,800～137,100㎡	延床面積： <u>110,989㎡</u>	3	共通バックヤード	バックヤード	バックヤード	延床面積： 98,200～153,500㎡	延床面積： <u>125,866㎡</u>	<p>① その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設の種類の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針</p> <p>2. エンターテイメント施設</p> <p>(1) エンターテイメント施設の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名称</th> <th>種類</th> <th>機能</th> <th>規模（計画値）</th> <th>規模（暫定計画値）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夢洲シアター</td> <td>劇場</td> <td>舞台・音響・照明等の演出機能</td> <td>延床面積： 12,000～14,700㎡</td> <td>延床面積： 14,571㎡</td> </tr> <tr> <td>結びの庭</td> <td>オープンスペース</td> <td>噴水、イベント会場等</td> <td>—</td> <td>広場面積： 2～4万㎡程度</td> </tr> <tr> <td>フェスティバルパーク</td> <td>オープンスペース</td> <td>イベント会場等</td> <td>—</td> <td rowspan="2">広場面積： 2～4万㎡程度</td> </tr> <tr> <td>イノベーションパーク</td> <td>オープンスペース</td> <td>イベント会場等</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 飲食施設</p> <p>(1) 飲食施設の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>種類</th> <th>機能</th> <th>規模（計画値）</th> <th>規模（暫定計画値）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ローカルパートナーダイニング、グローバルパートナーダイニング</td> <td>飲食施設</td> <td>飲食機能</td> <td>延床面積： 7,400～9,100㎡</td> <td>延床面積： 8,111㎡</td> </tr> <tr> <td>ジャズクラブ、サバークラブ、バーアレー等のナイトエンターテイメント施設</td> <td>飲食施設</td> <td>飲食機能、ライブ・パフォーマンス機能</td> <td>延床面積： 3,800～4,700㎡</td> <td>延床面積： 4,599㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 物販施設</p> <p>(1) 物販施設の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>NO.</th> <th>施設</th> <th>種類</th> <th>機能</th> <th>規模（計画値）</th> <th>規模（暫定計画値）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Luxuryリテール</td> <td>物販施設</td> <td>リテール機能</td> <td>延床面積： 44,500～54,500㎡</td> <td>延床面積：<u>45,308㎡</u></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>その他リテール</td> <td>物販施設</td> <td>リテール機能</td> <td>延床面積：370～540㎡</td> <td>延床面積：<u>520㎡</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>5. その他施設</p> <p>(1) その他施設の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>NO.</th> <th>施設</th> <th>種類</th> <th>機能</th> <th>規模（計画値）</th> <th>規模（暫定計画値）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>エネルギーセンター</td> <td>プラント</td> <td>エネルギー供給機能</td> <td>延床面積： 9,400～12,100㎡</td> <td>延床面積：<u>12,095㎡</u></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>駐車場</td> <td>駐車場</td> <td>駐車機能</td> <td>延床面積： 84,800～137,100㎡</td> <td>延床面積：<u>106,319㎡</u></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>共通バックヤード等</td> <td>バックヤード等</td> <td>バックヤード等</td> <td>延床面積： 98,200～153,500㎡</td> <td>延床面積：<u>150,365㎡</u></td> </tr> </tbody> </table>	施設名称	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）	夢洲シアター	劇場	舞台・音響・照明等の演出機能	延床面積： 12,000～14,700㎡	延床面積： 14,571㎡	結びの庭	オープンスペース	噴水、イベント会場等	—	広場面積： 2～4万㎡程度	フェスティバルパーク	オープンスペース	イベント会場等	—	広場面積： 2～4万㎡程度	イノベーションパーク	オープンスペース	イベント会場等	—	施設	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）	ローカルパートナーダイニング、グローバルパートナーダイニング	飲食施設	飲食機能	延床面積： 7,400～9,100㎡	延床面積： 8,111㎡	ジャズクラブ、サバークラブ、バーアレー等のナイトエンターテイメント施設	飲食施設	飲食機能、ライブ・パフォーマンス機能	延床面積： 3,800～4,700㎡	延床面積： 4,599㎡	NO.	施設	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）	1	Luxuryリテール	物販施設	リテール機能	延床面積： 44,500～54,500㎡	延床面積： <u>45,308㎡</u>	2	その他リテール	物販施設	リテール機能	延床面積：370～540㎡	延床面積： <u>520㎡</u>	NO.	施設	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）	1	エネルギーセンター	プラント	エネルギー供給機能	延床面積： 9,400～12,100㎡	延床面積： <u>12,095㎡</u>	2	駐車場	駐車場	駐車機能	延床面積： 84,800～137,100㎡	延床面積： <u>106,319㎡</u>	3	共通バックヤード等	バックヤード等	バックヤード等	延床面積： 98,200～153,500㎡	延床面積： <u>150,365㎡</u>
施設名称	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）																																																																																																																																																																	
夢洲シアター	劇場	舞台・音響・照明等の演出機能	延床面積： 12,000～14,700㎡	延床面積： 13,338㎡																																																																																																																																																																	
結びの庭	オープンスペース	噴水、イベント会場等	—	広場面積： 2～4万㎡程度																																																																																																																																																																	
フェスティバルパーク	オープンスペース	イベント会場等	—	広場面積： 2～4万㎡程度																																																																																																																																																																	
イノベーションパーク	オープンスペース	イベント会場等	—																																																																																																																																																																		
施設	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）																																																																																																																																																																	
ローカルパートナーダイニング、グローバルパートナーダイニング	飲食施設	飲食機能	延床面積： 7,400～9,100㎡	延床面積： 8,247㎡																																																																																																																																																																	
ジャズクラブ、サバークラブ、バーアレー等のナイトエンターテイメント施設	飲食施設	飲食機能、ライブ・パフォーマンス機能	延床面積： 3,800～4,700㎡	延床面積： 4,231㎡																																																																																																																																																																	
NO.	施設	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）																																																																																																																																																																
1	Luxuryリテール	物販施設	リテール機能	延床面積： 44,500～54,500㎡	延床面積： <u>49,472㎡</u>																																																																																																																																																																
2	その他リテール	物販施設	リテール機能	延床面積：370～540㎡	延床面積： <u>415㎡</u>																																																																																																																																																																
NO.	施設	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）																																																																																																																																																																
1	エネルギーセンター	プラント	エネルギー供給機能	延床面積： 9,400～11,600㎡	延床面積： <u>10,511㎡</u>																																																																																																																																																																
2	駐車場	駐車場	駐車機能	延床面積： 84,800～137,100㎡	延床面積： <u>110,989㎡</u>																																																																																																																																																																
3	共通バックヤード	バックヤード	バックヤード	延床面積： 98,200～153,500㎡	延床面積： <u>125,866㎡</u>																																																																																																																																																																
施設名称	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）																																																																																																																																																																	
夢洲シアター	劇場	舞台・音響・照明等の演出機能	延床面積： 12,000～14,700㎡	延床面積： 14,571㎡																																																																																																																																																																	
結びの庭	オープンスペース	噴水、イベント会場等	—	広場面積： 2～4万㎡程度																																																																																																																																																																	
フェスティバルパーク	オープンスペース	イベント会場等	—	広場面積： 2～4万㎡程度																																																																																																																																																																	
イノベーションパーク	オープンスペース	イベント会場等	—																																																																																																																																																																		
施設	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）																																																																																																																																																																	
ローカルパートナーダイニング、グローバルパートナーダイニング	飲食施設	飲食機能	延床面積： 7,400～9,100㎡	延床面積： 8,111㎡																																																																																																																																																																	
ジャズクラブ、サバークラブ、バーアレー等のナイトエンターテイメント施設	飲食施設	飲食機能、ライブ・パフォーマンス機能	延床面積： 3,800～4,700㎡	延床面積： 4,599㎡																																																																																																																																																																	
NO.	施設	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）																																																																																																																																																																
1	Luxuryリテール	物販施設	リテール機能	延床面積： 44,500～54,500㎡	延床面積： <u>45,308㎡</u>																																																																																																																																																																
2	その他リテール	物販施設	リテール機能	延床面積：370～540㎡	延床面積： <u>520㎡</u>																																																																																																																																																																
NO.	施設	種類	機能	規模（計画値）	規模（暫定計画値）																																																																																																																																																																
1	エネルギーセンター	プラント	エネルギー供給機能	延床面積： 9,400～12,100㎡	延床面積： <u>12,095㎡</u>																																																																																																																																																																
2	駐車場	駐車場	駐車機能	延床面積： 84,800～137,100㎡	延床面積： <u>106,319㎡</u>																																																																																																																																																																
3	共通バックヤード等	バックヤード等	バックヤード等	延床面積： 98,200～153,500㎡	延床面積： <u>150,365㎡</u>																																																																																																																																																																

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）																												
		<p>(4) 共通バックヤードの概要</p> <p>a. 外観及び内装の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外観については、バックヤードエリアが極力外観に表れないよう配慮する。 ・内装については、カラーリングの切り替えやサイン計画等により、従業員の移動に配慮する。 <p>b. 設置及び運営の方針</p> <p>(a) 基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I R内の各施設で利用するバックヤード機能を、来訪者動線との分離に配慮した上で適切に配置する。 <p>(b) 動線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の移動や、来訪者動線との分離に配慮した動線計画とする。 	<p>(4) 共通バックヤード等の概要</p> <p>a. 外観及び内装の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通バックヤードの外観については、バックヤードエリアが極力外観に表れないよう配慮する。 ・I R内の各施設で共用して利用する設備の外観については、周囲との調和に配慮した形状や併設する建物に準ずる。 ・共通バックヤードの内装については、カラーリングの切り替えやサイン計画等により、従業員の移動に配慮する。 ・I R内の各施設で共用して利用する設備の内装については、周囲や併設する建物と調和のとれたものとする。 <p>b. 設置及び運営の方針</p> <p>(a) 基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I R内の各施設で利用するバックヤード機能を、来訪者動線との分離に配慮した上で適切に配置する。 ・I R内の各施設で共用して利用する設備について、各施設の利用者の利便性が高くなるように適切に配置する。 <p>(b) 動線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通バックヤードについては、従業員の移動や、来訪者動線との分離に配慮した動線計画とする。 ・I R内の各施設で共用して利用する設備については、各施設の利用者の利便性に配慮した動線とする。 																												
15	評価 基準 14	<p>② カジノ施設の数、規模</p> <p>2. カジノ施設の規模</p> <table border="1" data-bbox="350 1171 1522 1413"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">床面積</th> <th colspan="2">収容人員</th> </tr> <tr> <th>施設全体</th> <th>専らカジノ行為の用に供される部分 (ゲーミング区域※1)</th> <th>収容人員 (実際利用シーン※2)</th> <th>消防法収容人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カジノ施設</td> <td>約58,600～71,700㎡ (暫定計画値65,166㎡)</td> <td>約21,900～25,500㎡ (暫定計画値23,115㎡)</td> <td>11,500人</td> <td>11,955人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 設計・施工過程における計画調整により、I R施設の床面積に一定の変動が想定されるため、ゲーミング区域の床面積は、I R施設の床面積の合計の3%を超えない範囲で変更する可能性がある。</p> <p>※2 実際の利用シーンにおける収容人員（実際にテーブルゲーム・電子ゲームでプレイするゲスト以外のノン・ゲーミングゲスト等も含む。）</p>		床面積		収容人員		施設全体	専らカジノ行為の用に供される部分 (ゲーミング区域※1)	収容人員 (実際利用シーン※2)	消防法収容人員	カジノ施設	約58,600～71,700㎡ (暫定計画値65,166㎡)	約21,900～25,500㎡ (暫定計画値23,115㎡)	11,500人	11,955人	<p>② カジノ施設の数、規模</p> <p>2. カジノ施設の規模</p> <table border="1" data-bbox="1599 1171 2772 1413"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">床面積</th> <th colspan="2">収容人員</th> </tr> <tr> <th>施設全体</th> <th>専らカジノ行為の用に供される部分 (ゲーミング区域※1)</th> <th>収容人員 (実際利用シーン※2)</th> <th>消防法収容人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カジノ施設</td> <td>約58,600～71,700㎡ (暫定計画値70,333㎡)</td> <td>約21,900～25,500㎡ (暫定計画値23,293㎡)</td> <td>11,500人</td> <td>14,387人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 設計・施工過程における計画調整により、I R施設の床面積に一定の変動が想定されるため、ゲーミング区域の床面積は、I R施設の床面積の合計の3%を超えない範囲で変更する可能性がある。</p> <p>※2 実際の利用シーンにおける収容人員（実際にテーブルゲーム・電子ゲームでプレイするゲスト以外のノン・ゲーミングゲスト等も含む。）</p>		床面積		収容人員		施設全体	専らカジノ行為の用に供される部分 (ゲーミング区域※1)	収容人員 (実際利用シーン※2)	消防法収容人員	カジノ施設	約58,600～71,700㎡ (暫定計画値70,333㎡)	約21,900～25,500㎡ (暫定計画値23,293㎡)	11,500人	14,387人
	床面積			収容人員																											
	施設全体	専らカジノ行為の用に供される部分 (ゲーミング区域※1)	収容人員 (実際利用シーン※2)	消防法収容人員																											
カジノ施設	約58,600～71,700㎡ (暫定計画値65,166㎡)	約21,900～25,500㎡ (暫定計画値23,115㎡)	11,500人	11,955人																											
	床面積		収容人員																												
	施設全体	専らカジノ行為の用に供される部分 (ゲーミング区域※1)	収容人員 (実際利用シーン※2)	消防法収容人員																											
カジノ施設	約58,600～71,700㎡ (暫定計画値70,333㎡)	約21,900～25,500㎡ (暫定計画値23,293㎡)	11,500人	14,387人																											

NO.	様式	区域整備計画 (2025年5月9日)	区域整備計画 (2025年9月12日)																																																												
16	評価基準 15	<p>③ 域内アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪 I R は、大阪市街地から西方約10kmに位置する夢洲に設置され、夢洲への交通アクセス強化に係る各種整備計画が進められている。大阪メトロ中央線延伸による大阪 I R 直結の新駅整備によって、大阪市内の主要駅からのアクセスが確保されるほか、夢洲への主要道路として、夢咲トンネル、夢舞大橋の2ルートが確保されている。また、夢舞大橋では6車線化工事（現在は4車線）等が事業中である。 I R 区域に直結する新駅、I R 事業者が I R 区域内に整備する大規模なバスターミナル及び駐車場、また、大阪市及び I R 事業者が夢洲北側護岸に整備する係留施設により、各種交通ネットワークの利用者が円滑に I R 区域にアクセス可能となる。 大阪は我が国有数の人口・経済集積地であり、経済活動や社会活動を支える公共交通機関や道路ネットワークが十分整備されており、大量輸送を実現する質の高い交通サービスが利用可能である。 更なる交通サービスの質向上としてリムジンによる送迎サービスを提供し、来訪者の大阪 I R への円滑な往来を促進する。また、I R 区域内のバスターミナルと I R の主要施設を定期的に周回するループバスを運行し、I R 施設間のシームレスな移動を実現する計画である。 <p>5. 交通アクセスの現状と渋滞対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 夢洲地区への訪問者増加等に対応するため、2024年度末までの供用開始をめざし、地下鉄や外周道路・高架道路の整備、既設道路等の改良等、交通インフラ整備を行う予定であり、さらに、I R 事業者は交通基盤整備（バス及び海上アクセス拠点）、駐車場の確保等のハード対策及び自動車利用の抑制、ピーク時需要の削減等のソフト対策を実施予定である。 	<p>③ 域内アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪 I R は、大阪市街地から西方約10kmに位置する夢洲に設置され、夢洲への交通アクセス強化に係る各種整備計画が進められている。大阪メトロ中央線延伸による大阪 I R 直結の新駅整備によって、大阪市内の主要駅からのアクセスが確保されるほか、夢洲への主要道路として、夢咲トンネル、夢舞大橋の2ルートが確保されている。また、夢舞大橋では6車線化工事（現在は4車線）等が事業中である。 I R 区域に直結する新駅、I R 事業者が I R 区域内に整備する大規模なバスターミナル及び駐車場、また、大阪市が夢洲北側護岸に整備した係留施設により、各種交通ネットワークの利用者が円滑に I R 区域にアクセス可能となる。 大阪は我が国有数の人口・経済集積地であり、経済活動や社会活動を支える公共交通機関や道路ネットワークが十分整備されており、大量輸送を実現する質の高い交通サービスが利用可能である。 更なる交通サービスの質向上としてリムジンによる送迎サービスを提供し、来訪者の大阪 I R への円滑な往来を促進する。また、I R 区域内のバスターミナルと I R の主要施設を定期的に周回するループバスを運行し、I R 施設間のシームレスな移動を実現する計画である。 <p>5. 交通アクセスの現状と渋滞対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 夢洲地区への訪問者増加等に対応するため、2024年度末までの供用開始をめざし、地下鉄や外周道路・高架道路の整備、既設道路等の改良等、交通インフラ整備を行う予定であり、さらに、I R 事業者は交通基盤整備（バスターミナル及びフェリーターミナルの整備等）、駐車場の確保等のハード対策及び自動車利用の抑制、ピーク時需要の削減等のソフト対策を実施予定である。 																																																												
17	評価基準 18	<p>① I R 施設に対する投資の金額の見込み（I R 施設を構成する各施設に対する投資の金額の見込み額を含む。）及び⑤その推計方法</p> <p>1. I R 施設の投資の金額の見込み</p> <p style="text-align: right;">(単位：億円)</p> <table border="1" data-bbox="379 1325 1478 1835"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>初期投資額 (消費税抜)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 建設関連投資</td> <td>9,545</td> </tr> <tr> <td> (1) 建築物整備費</td> <td>7,988</td> </tr> <tr> <td> ① 建築工事費</td> <td>7,221</td> </tr> <tr> <td> カジノ施設</td> <td>537</td> </tr> <tr> <td> 1号：国際会議場施設</td> <td>298</td> </tr> <tr> <td> 2号：展示等施設</td> <td>278</td> </tr> <tr> <td> 3号：魅力増進施設</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td> 4号：送客施設</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td> 5号：宿泊施設</td> <td>2,465</td> </tr> <tr> <td> 6号：来訪及び滞在寄与施設</td> <td>3,513</td> </tr> <tr> <td> ② 建築関連費用</td> <td>767</td> </tr> <tr> <td> (2) その他建築関連投資</td> <td>1,557</td> </tr> <tr> <td>2. その他初期投資額</td> <td>3,144</td> </tr> <tr> <td>初期投資総額 (=1. +2.)</td> <td>12,689</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	初期投資額 (消費税抜)	1. 建設関連投資	9,545	(1) 建築物整備費	7,988	① 建築工事費	7,221	カジノ施設	537	1号：国際会議場施設	298	2号：展示等施設	278	3号：魅力増進施設	119	4号：送客施設	11	5号：宿泊施設	2,465	6号：来訪及び滞在寄与施設	3,513	② 建築関連費用	767	(2) その他建築関連投資	1,557	2. その他初期投資額	3,144	初期投資総額 (=1. +2.)	12,689	<p>① I R 施設に対する投資の金額の見込み（I R 施設を構成する各施設に対する投資の金額の見込み額を含む。）及び⑤その推計方法</p> <p>1. I R 施設の投資の金額の見込み</p> <p style="text-align: right;">(単位：億円)</p> <table border="1" data-bbox="1632 1325 2730 1835"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>初期投資額 (消費税抜)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 建設関連投資</td> <td>11,951</td> </tr> <tr> <td> (1) 建築物整備費</td> <td>11,285</td> </tr> <tr> <td> ① 建築工事費</td> <td>10,436</td> </tr> <tr> <td> カジノ施設</td> <td>776</td> </tr> <tr> <td> 1号：国際会議場施設</td> <td>493</td> </tr> <tr> <td> 2号：展示等施設</td> <td>339</td> </tr> <tr> <td> 3号：魅力増進施設</td> <td>172</td> </tr> <tr> <td> 4号：送客施設</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td> 5号：宿泊施設</td> <td>3,562</td> </tr> <tr> <td> 6号：来訪及び滞在寄与施設</td> <td>5,077</td> </tr> <tr> <td> ② 建築関連費用</td> <td>849</td> </tr> <tr> <td> (2) その他建築関連投資</td> <td>665</td> </tr> <tr> <td>2. その他初期投資額</td> <td>3,179</td> </tr> <tr> <td>初期投資総額 (=1. +2.)</td> <td>15,130</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	初期投資額 (消費税抜)	1. 建設関連投資	11,951	(1) 建築物整備費	11,285	① 建築工事費	10,436	カジノ施設	776	1号：国際会議場施設	493	2号：展示等施設	339	3号：魅力増進施設	172	4号：送客施設	17	5号：宿泊施設	3,562	6号：来訪及び滞在寄与施設	5,077	② 建築関連費用	849	(2) その他建築関連投資	665	2. その他初期投資額	3,179	初期投資総額 (=1. +2.)	15,130
項目名	初期投資額 (消費税抜)																																																														
1. 建設関連投資	9,545																																																														
(1) 建築物整備費	7,988																																																														
① 建築工事費	7,221																																																														
カジノ施設	537																																																														
1号：国際会議場施設	298																																																														
2号：展示等施設	278																																																														
3号：魅力増進施設	119																																																														
4号：送客施設	11																																																														
5号：宿泊施設	2,465																																																														
6号：来訪及び滞在寄与施設	3,513																																																														
② 建築関連費用	767																																																														
(2) その他建築関連投資	1,557																																																														
2. その他初期投資額	3,144																																																														
初期投資総額 (=1. +2.)	12,689																																																														
項目名	初期投資額 (消費税抜)																																																														
1. 建設関連投資	11,951																																																														
(1) 建築物整備費	11,285																																																														
① 建築工事費	10,436																																																														
カジノ施設	776																																																														
1号：国際会議場施設	493																																																														
2号：展示等施設	339																																																														
3号：魅力増進施設	172																																																														
4号：送客施設	17																																																														
5号：宿泊施設	3,562																																																														
6号：来訪及び滞在寄与施設	5,077																																																														
② 建築関連費用	849																																																														
(2) その他建築関連投資	665																																																														
2. その他初期投資額	3,179																																																														
初期投資総額 (=1. +2.)	15,130																																																														

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）																																																																																
		<p>3. IR施設全体に対する投資による経済波及効果</p> <p style="text-align: right;">（単位：億円）</p> <table border="1" data-bbox="365 296 1451 457"> <thead> <tr> <th>建設フェーズ</th> <th>直接効果</th> <th>1次波及効果</th> <th>2次波及効果</th> <th>波及効果合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IR施設（建設）</td> <td>9,855</td> <td>4,641</td> <td>2,909</td> <td>17,405</td> </tr> <tr> <td>IR施設（開業準備）</td> <td>1,035</td> <td>439</td> <td>252</td> <td>1,726</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,890</td> <td>5,080</td> <td>3,161</td> <td>19,131</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 建設フェーズにおける雇用創出効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設フェーズにおける雇用効果は、直接効果・間接効果の合計で、約14.0万人を想定する。 <p style="text-align: center;">【図表1：建設フェーズにおける雇用創出効果】</p> <p style="text-align: right;">（単位：人）</p> <table border="1" data-bbox="365 657 1469 819"> <thead> <tr> <th>建設フェーズ</th> <th>直接効果</th> <th>1次波及効果</th> <th>2次波及効果</th> <th>波及効果合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IR施設（建設）</td> <td>80,693</td> <td>26,318</td> <td>20,049</td> <td>127,061</td> </tr> <tr> <td>IR施設（開業準備等）</td> <td>7,968</td> <td>3,072</td> <td>1,749</td> <td>12,789</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>88,661</td> <td>29,390</td> <td>21,798</td> <td>139,850</td> </tr> </tbody> </table>	建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計	IR施設（建設）	9,855	4,641	2,909	17,405	IR施設（開業準備）	1,035	439	252	1,726	合計	10,890	5,080	3,161	19,131	建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計	IR施設（建設）	80,693	26,318	20,049	127,061	IR施設（開業準備等）	7,968	3,072	1,749	12,789	合計	88,661	29,390	21,798	139,850	<p>3. IR施設全体に対する投資による経済波及効果</p> <p style="text-align: right;">（単位：億円）</p> <table border="1" data-bbox="1614 296 2700 457"> <thead> <tr> <th>建設フェーズ</th> <th>直接効果</th> <th>1次波及効果</th> <th>2次波及効果</th> <th>波及効果合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IR施設（建設）</td> <td>12,434</td> <td>5,855</td> <td>3,670</td> <td>21,960</td> </tr> <tr> <td>IR施設（開業準備）</td> <td>1,047</td> <td>444</td> <td>255</td> <td>1,746</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,481</td> <td>6,299</td> <td>3,925</td> <td>23,706</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 建設フェーズにおける雇用創出効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設フェーズにおける雇用効果は、直接効果・間接効果の合計で、約17.5万人を想定する。 <p style="text-align: center;">【図表1：建設フェーズにおける雇用創出効果】</p> <p style="text-align: right;">（単位：人）</p> <table border="1" data-bbox="1614 657 2718 819"> <thead> <tr> <th>建設フェーズ</th> <th>直接効果</th> <th>1次波及効果</th> <th>2次波及効果</th> <th>波及効果合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IR施設（建設）</td> <td>102,665</td> <td>33,484</td> <td>25,508</td> <td>161,658</td> </tr> <tr> <td>IR施設（開業準備等）</td> <td>8,081</td> <td>3,101</td> <td>1,771</td> <td>12,953</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>110,746</td> <td>36,585</td> <td>27,279</td> <td>174,611</td> </tr> </tbody> </table>	建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計	IR施設（建設）	12,434	5,855	3,670	21,960	IR施設（開業準備）	1,047	444	255	1,746	合計	13,481	6,299	3,925	23,706	建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計	IR施設（建設）	102,665	33,484	25,508	161,658	IR施設（開業準備等）	8,081	3,101	1,771	12,953	合計	110,746	36,585	27,279	174,611
建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計																																																																															
IR施設（建設）	9,855	4,641	2,909	17,405																																																																															
IR施設（開業準備）	1,035	439	252	1,726																																																																															
合計	10,890	5,080	3,161	19,131																																																																															
建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計																																																																															
IR施設（建設）	80,693	26,318	20,049	127,061																																																																															
IR施設（開業準備等）	7,968	3,072	1,749	12,789																																																																															
合計	88,661	29,390	21,798	139,850																																																																															
建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計																																																																															
IR施設（建設）	12,434	5,855	3,670	21,960																																																																															
IR施設（開業準備）	1,047	444	255	1,746																																																																															
合計	13,481	6,299	3,925	23,706																																																																															
建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計																																																																															
IR施設（建設）	102,665	33,484	25,508	161,658																																																																															
IR施設（開業準備等）	8,081	3,101	1,771	12,953																																																																															
合計	110,746	36,585	27,279	174,611																																																																															
18	評価基準 18	<p>④ その他の区域整備計画の実施により見込まれる経済的社会的効果</p> <p>2. 地元調達額の見込み額</p> <p>(1) IR事業においては、建設時（建設フェーズ）及び運営期間（運営フェーズ）にわたって大規模な調達が行われる。大阪IRでは、地元（近畿圏（2府5県））からの調達を通じて、IR区域の後背圏に経済的効果がもたらされることが期待される。</p> <p>(2) 建設フェーズでは累計10,650億円、運営フェーズでは年間2,620億円の近畿圏（2府5県）からの調達を想定する。</p> <p>(3) 近畿圏（2府5県）内からの調達額（地元調達額）の想定は、IR施設完成までの期間「建設フェーズ」と、開業3年目期「運営フェーズ」に分けた上で、以下の条件・方法に基づき推計した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済波及効果分析との整合性を図り、「平成17年近畿地域産業連関表」（経済産業省近畿経済産業局）の範囲である近畿圏（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府5県）を地元を設定した。 IR事業者が試算した、大阪IRの施設の建設費及び運営費に基づく。 「平成17年近畿地域産業連関表」（経済産業省近畿経済産業局）における産業分類ごとの平均的な域内自給率を参考に、同等の域内自給率によって地元（近畿圏（2府5県））からの調達を行うものとした。 	<p>④ その他の区域整備計画の実施により見込まれる経済的社会的効果</p> <p>2. 地元調達額の見込み額</p> <p>(1) IR事業においては、建設時（建設フェーズ）及び運営期間（運営フェーズ）にわたって大規模な調達が行われる。大阪IRでは、地元（近畿圏（2府5県））からの調達を通じて、IR区域の後背圏に経済的効果がもたらされることが期待される。</p> <p>(2) 建設フェーズでは累計13,069億円、運営フェーズでは年間2,620億円の近畿圏（2府5県）からの調達を想定する。</p> <p>(3) 近畿圏（2府5県）内からの調達額（地元調達額）の想定は、IR施設完成までの期間「建設フェーズ」と、開業3年目期「運営フェーズ」に分けた上で、以下の条件・方法に基づき推計した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済波及効果分析との整合性を図り、「平成17年近畿地域産業連関表」（経済産業省近畿経済産業局）の範囲である近畿圏（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府5県）を地元を設定した。 IR事業者が試算した、大阪IRの施設の建設費及び運営費に基づく。 「平成17年近畿地域産業連関表」（経済産業省近畿経済産業局）における産業分類ごとの平均的な域内自給率を参考に、同等の域内自給率によって地元（近畿圏（2府5県））からの調達を行うものとした。 																																																																																

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）																																																																																																
		<p style="text-align: center;">【図表10：産業分類別の地元調達額】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">建設フェーズ</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">運営フェーズ</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">産業分類</th> <th style="text-align: center;">地元調達額（億円）</th> <th style="text-align: center;">産業分類</th> <th style="text-align: center;">地元調達額（億円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設</td> <td style="text-align: right;">10,020</td> <td>対個人サービス</td> <td style="text-align: right;">2,033</td> </tr> <tr> <td>製材・木製品・家具</td> <td style="text-align: right;">318</td> <td>その他の製造工業製品</td> <td style="text-align: right;">246</td> </tr> <tr> <td>対事業所サービス</td> <td style="text-align: right;">238</td> <td>商業</td> <td style="text-align: right;">158</td> </tr> <tr> <td>電気機械</td> <td style="text-align: right;">74</td> <td>繊維製品</td> <td style="text-align: right;">72</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">10,650</td> <td>飲食料品</td> <td style="text-align: right;">69</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>運輸</td> <td style="text-align: right;">13</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>農林水産業</td> <td style="text-align: right;">25</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>金融・保険・不動産</td> <td style="text-align: right;">4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>情報通信</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">2,620</td> </tr> </tbody> </table>	建設フェーズ		運営フェーズ		産業分類	地元調達額（億円）	産業分類	地元調達額（億円）	建設	10,020	対個人サービス	2,033	製材・木製品・家具	318	その他の製造工業製品	246	対事業所サービス	238	商業	158	電気機械	74	繊維製品	72	合計	10,650	飲食料品	69			運輸	13			農林水産業	25			金融・保険・不動産	4			情報通信	0			合計	2,620	<p style="text-align: center;">【図表10：産業分類別の地元調達額】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">建設フェーズ</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">運営フェーズ</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">産業分類</th> <th style="text-align: center;">地元調達額（億円）</th> <th style="text-align: center;">産業分類</th> <th style="text-align: center;">地元調達額（億円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設</td> <td style="text-align: right;">12,434</td> <td>対個人サービス</td> <td style="text-align: right;">2,033</td> </tr> <tr> <td>製材・木製品・家具</td> <td style="text-align: right;">318</td> <td>その他の製造工業製品</td> <td style="text-align: right;">246</td> </tr> <tr> <td>対事業所サービス</td> <td style="text-align: right;">243</td> <td>商業</td> <td style="text-align: right;">158</td> </tr> <tr> <td>電気機械</td> <td style="text-align: right;">74</td> <td>繊維製品</td> <td style="text-align: right;">72</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">13,069</td> <td>飲食料品</td> <td style="text-align: right;">69</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>運輸</td> <td style="text-align: right;">13</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>農林水産業</td> <td style="text-align: right;">25</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>金融・保険・不動産</td> <td style="text-align: right;">4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>情報通信</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">2,620</td> </tr> </tbody> </table>	建設フェーズ		運営フェーズ		産業分類	地元調達額（億円）	産業分類	地元調達額（億円）	建設	12,434	対個人サービス	2,033	製材・木製品・家具	318	その他の製造工業製品	246	対事業所サービス	243	商業	158	電気機械	74	繊維製品	72	合計	13,069	飲食料品	69			運輸	13			農林水産業	25			金融・保険・不動産	4			情報通信	0			合計	2,620
建設フェーズ		運営フェーズ																																																																																																	
産業分類	地元調達額（億円）	産業分類	地元調達額（億円）																																																																																																
建設	10,020	対個人サービス	2,033																																																																																																
製材・木製品・家具	318	その他の製造工業製品	246																																																																																																
対事業所サービス	238	商業	158																																																																																																
電気機械	74	繊維製品	72																																																																																																
合計	10,650	飲食料品	69																																																																																																
		運輸	13																																																																																																
		農林水産業	25																																																																																																
		金融・保険・不動産	4																																																																																																
		情報通信	0																																																																																																
		合計	2,620																																																																																																
建設フェーズ		運営フェーズ																																																																																																	
産業分類	地元調達額（億円）	産業分類	地元調達額（億円）																																																																																																
建設	12,434	対個人サービス	2,033																																																																																																
製材・木製品・家具	318	その他の製造工業製品	246																																																																																																
対事業所サービス	243	商業	158																																																																																																
電気機械	74	繊維製品	72																																																																																																
合計	13,069	飲食料品	69																																																																																																
		運輸	13																																																																																																
		農林水産業	25																																																																																																
		金融・保険・不動産	4																																																																																																
		情報通信	0																																																																																																
		合計	2,620																																																																																																
19	評価基準 20	<p>① 整備・運営・維持管理等の主要な事業ごとの実施体制</p> <p>1. IR事業者の構成員</p> <p>IR事業者の構成員は、中核株主となる合同会社日本MGMリゾート及びオリックス株式会社並びに関西の地元企業を中心とする少数株主22社から構成される。</p> <p style="text-align: center;">【図表1：IR事業者の構成員】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">構成員</th> <th style="text-align: center;">議決権割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">中核株主</td> <td>合同会社日本MGMリゾート</td> <td style="text-align: center;">約41%</td> </tr> <tr> <td>オリックス株式会社</td> <td style="text-align: center;">約41%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">少数株主</td> <td>関西の地元企業を中心とする少数株主^{※1} 岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、ダイキン工業株式会社、大成建設株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神不動産株式会社、阪和興業株式会社、丸一鋼管株式会社、三菱電機株式会社、レンゴー株式会社</td> <td style="text-align: center;">約17%^{※2}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 少数株主の持ち分については、少数株主全体の議決権割合（17%）の範囲内で変動することがある。 ※2 各少数株主の議決権割合は5%未満であり、認可主要株主には該当しない。</p>	区分	構成員	議決権割合	中核株主	合同会社日本MGMリゾート	約41%	オリックス株式会社	約41%	少数株主	関西の地元企業を中心とする少数株主 ^{※1} 岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、ダイキン工業株式会社、大成建設株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神不動産株式会社、阪和興業株式会社、丸一鋼管株式会社、三菱電機株式会社、レンゴー株式会社	約17% ^{※2}	<p>① 整備・運営・維持管理等の主要な事業ごとの実施体制</p> <p>1. IR事業者の構成員</p> <p>IR事業者の構成員は、中核株主となる合同会社日本MGMリゾート及びオリックス株式会社並びに関西の地元企業を中心とする少数株主22社から構成される。</p> <p style="text-align: center;">【図表1：IR事業者の構成員】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">構成員</th> <th style="text-align: center;">議決権割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">中核株主</td> <td>合同会社日本MGMリゾート</td> <td style="text-align: center;">約44%</td> </tr> <tr> <td>オリックス株式会社</td> <td style="text-align: center;">約44%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">少数株主</td> <td>関西の地元企業を中心とする少数株主^{※1} 岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、ダイキン工業株式会社、大成建設株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神不動産株式会社、阪和興業株式会社、丸一鋼管株式会社、三菱電機株式会社、レンゴー株式会社</td> <td style="text-align: center;">約13%^{※2}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 少数株主の持ち分については、少数株主全体の議決権割合（17%）の範囲内で変動することがある。 ※2 各少数株主の議決権割合は5%未満であり、認可主要株主には該当しない。</p>	区分	構成員	議決権割合	中核株主	合同会社日本MGMリゾート	約44%	オリックス株式会社	約44%	少数株主	関西の地元企業を中心とする少数株主 ^{※1} 岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、ダイキン工業株式会社、大成建設株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神不動産株式会社、阪和興業株式会社、丸一鋼管株式会社、三菱電機株式会社、レンゴー株式会社	約13% ^{※2}																																																																										
区分	構成員	議決権割合																																																																																																	
中核株主	合同会社日本MGMリゾート	約41%																																																																																																	
	オリックス株式会社	約41%																																																																																																	
少数株主	関西の地元企業を中心とする少数株主 ^{※1} 岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、ダイキン工業株式会社、大成建設株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神不動産株式会社、阪和興業株式会社、丸一鋼管株式会社、三菱電機株式会社、レンゴー株式会社	約17% ^{※2}																																																																																																	
区分	構成員	議決権割合																																																																																																	
中核株主	合同会社日本MGMリゾート	約44%																																																																																																	
	オリックス株式会社	約44%																																																																																																	
少数株主	関西の地元企業を中心とする少数株主 ^{※1} 岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、ダイキン工業株式会社、大成建設株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神不動産株式会社、阪和興業株式会社、丸一鋼管株式会社、三菱電機株式会社、レンゴー株式会社	約13% ^{※2}																																																																																																	

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）																																										
		<p>5. IR事業者の主要株主等基準値以上の数の議決権等の保有者</p> <p>(1) 主要株主等基準値以上の数の議決権の保有者</p> <p style="text-align: center;">【図表5：主要株主等基準値以上の数の議決権の保有者】</p> <table border="1" data-bbox="388 352 1504 527"> <thead> <tr> <th>主要株主等基準値以上の数の議決権の保有者</th> <th>議決権割合</th> <th>出資金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合同会社日本MGMリゾート</td> <td>約41%</td> <td>約3,060億円</td> </tr> <tr> <td>オリックス株式会社</td> <td>約41%</td> <td>約3,060億円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 合同会社日本MGMリゾート</p> <table border="1" data-bbox="388 604 1504 1457"> <tbody> <tr> <td>代表社員の氏名</td> <td>代表社員 MGMジャパン・ホールドコ・エルピー 職務執行者 エドワード・パウワーズ</td> </tr> <tr> <td>代表社員住所</td> <td>・アメリカ合衆国ネバダ州89118、ラスベガス、サウス・レインボー・ブルーバード6385、スイート500</td> </tr> <tr> <td>大阪IRにおける役割</td> <td>・筆頭株主としてIR事業者の財務基盤を支持 ・大阪IRの整備・運営・維持管理等の全てを、IR事業者への役職員の派遣・出向、IR事業者との契約に基づく各分野における技術的・専門的サポートの提供等を通じて支援</td> </tr> <tr> <td>保有株式及び議決権割合等</td> <td>・譲渡制限付き議決権付き普通株式 ・議決権割合：約41% ・出資額：約3,060億円</td> </tr> <tr> <td>事業実績</td> <td>・MGMリゾート・インターナショナルは、世界最大のMICEデスティネーションであるラスベガスにおける最大のMICEオペレーターであり、年間宿泊需要約190万室を創出、世界各地で年間9,000以上のショー・イベントを開催。30年以上の歴史を有し、世界35ヶ所でエンターテインメント施設を運営 ・MGMリゾート・インターナショナルは、ラスベガスにおいて、大規模MICE施設を複数運営しており、中でもMandalay Bay（マンダレイ・ベイ）はラスベガス最大級の規模を有し、北米最大級のコンベンションセンターを配備</td> </tr> <tr> <td>財務の状況 (2021年12月期第3四半期連結累計実績)</td> <td>・売上高：約66億ドル ・純利益：約11億ドル ・手元流動性：約64億ドル ※海外子会社等を除く米国本社の現金等、リボルビングクレジットの数値</td> </tr> </tbody> </table>	主要株主等基準値以上の数の議決権の保有者	議決権割合	出資金額	合同会社日本MGMリゾート	約41%	約3,060億円	オリックス株式会社	約41%	約3,060億円	代表社員の氏名	代表社員 MGMジャパン・ホールドコ・エルピー 職務執行者 エドワード・パウワーズ	代表社員住所	・アメリカ合衆国ネバダ州89118、ラスベガス、サウス・レインボー・ブルーバード6385、スイート500	大阪IRにおける役割	・筆頭株主としてIR事業者の財務基盤を支持 ・大阪IRの整備・運営・維持管理等の全てを、IR事業者への役職員の派遣・出向、IR事業者との契約に基づく各分野における技術的・専門的サポートの提供等を通じて支援	保有株式及び議決権割合等	・譲渡制限付き議決権付き普通株式 ・議決権割合：約41% ・出資額：約3,060億円	事業実績	・MGMリゾート・インターナショナルは、世界最大のMICEデスティネーションであるラスベガスにおける最大のMICEオペレーターであり、年間宿泊需要約190万室を創出、世界各地で年間9,000以上のショー・イベントを開催。30年以上の歴史を有し、世界35ヶ所でエンターテインメント施設を運営 ・MGMリゾート・インターナショナルは、ラスベガスにおいて、大規模MICE施設を複数運営しており、中でもMandalay Bay（マンダレイ・ベイ）はラスベガス最大級の規模を有し、北米最大級のコンベンションセンターを配備	財務の状況 (2021年12月期第3四半期連結累計実績)	・売上高：約66億ドル ・純利益：約11億ドル ・手元流動性：約64億ドル ※海外子会社等を除く米国本社の現金等、リボルビングクレジットの数値	<p>5. IR事業者の主要株主等基準値以上の数の議決権等の保有者</p> <p>(1) 主要株主等基準値以上の数の議決権の保有者</p> <p style="text-align: center;">【図表5：主要株主等基準値以上の数の議決権の保有者】</p> <table border="1" data-bbox="1638 352 2754 527"> <thead> <tr> <th>主要株主等基準値以上の数の議決権の保有者</th> <th>議決権割合</th> <th>出資金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合同会社日本MGMリゾート</td> <td>約44%</td> <td>約4,280億円</td> </tr> <tr> <td>オリックス株式会社</td> <td>約44%</td> <td>約4,280億円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 合同会社日本MGMリゾート</p> <table border="1" data-bbox="1638 604 2754 1457"> <tbody> <tr> <td>代表社員の氏名</td> <td>代表社員 MGMジャパン・ホールドコ・エルピー 職務執行者 エドワード・パウワーズ</td> </tr> <tr> <td>代表社員住所</td> <td>・アメリカ合衆国ネバダ州89118、ラスベガス、サウス・エドモンド・ストリート6770、3階</td> </tr> <tr> <td>大阪IRにおける役割</td> <td>・筆頭株主としてIR事業者の財務基盤を支持 ・大阪IRの整備・運営・維持管理等の全てを、IR事業者への役職員の派遣・出向、IR事業者との契約に基づく各分野における技術的・専門的サポートの提供等を通じて支援</td> </tr> <tr> <td>保有株式及び議決権割合等</td> <td>・譲渡制限付き議決権付き普通株式 ・議決権割合：約44% ・出資額：約4,280億円</td> </tr> <tr> <td>事業実績</td> <td>・MGMリゾート・インターナショナルは、世界最大のMICEデスティネーションであるラスベガスにおける最大のMICEオペレーターであり、年間宿泊需要約190万室を創出、世界各地で年間9,000以上のショー・イベントを開催。30年以上の歴史を有し、世界35ヶ所でエンターテインメント施設を運営 ・MGMリゾート・インターナショナルは、ラスベガスにおいて、大規模MICE施設を複数運営しており、中でもMandalay Bay（マンダレイ・ベイ）はラスベガス最大級の規模を有し、北米最大級のコンベンションセンターを配備</td> </tr> <tr> <td>財務の状況 (2021年12月期第3四半期連結累計実績)</td> <td>・売上高：約66億ドル ・純利益：約11億ドル ・手元流動性：約64億ドル ※海外子会社等を除く米国本社の現金等、リボルビングクレジットの数値</td> </tr> </tbody> </table>	主要株主等基準値以上の数の議決権の保有者	議決権割合	出資金額	合同会社日本MGMリゾート	約44%	約4,280億円	オリックス株式会社	約44%	約4,280億円	代表社員の氏名	代表社員 MGMジャパン・ホールドコ・エルピー 職務執行者 エドワード・パウワーズ	代表社員住所	・アメリカ合衆国ネバダ州89118、ラスベガス、サウス・エドモンド・ストリート6770、3階	大阪IRにおける役割	・筆頭株主としてIR事業者の財務基盤を支持 ・大阪IRの整備・運営・維持管理等の全てを、IR事業者への役職員の派遣・出向、IR事業者との契約に基づく各分野における技術的・専門的サポートの提供等を通じて支援	保有株式及び議決権割合等	・譲渡制限付き議決権付き普通株式 ・議決権割合：約44% ・出資額：約4,280億円	事業実績	・MGMリゾート・インターナショナルは、世界最大のMICEデスティネーションであるラスベガスにおける最大のMICEオペレーターであり、年間宿泊需要約190万室を創出、世界各地で年間9,000以上のショー・イベントを開催。30年以上の歴史を有し、世界35ヶ所でエンターテインメント施設を運営 ・MGMリゾート・インターナショナルは、ラスベガスにおいて、大規模MICE施設を複数運営しており、中でもMandalay Bay（マンダレイ・ベイ）はラスベガス最大級の規模を有し、北米最大級のコンベンションセンターを配備	財務の状況 (2021年12月期第3四半期連結累計実績)	・売上高：約66億ドル ・純利益：約11億ドル ・手元流動性：約64億ドル ※海外子会社等を除く米国本社の現金等、リボルビングクレジットの数値
主要株主等基準値以上の数の議決権の保有者	議決権割合	出資金額																																											
合同会社日本MGMリゾート	約41%	約3,060億円																																											
オリックス株式会社	約41%	約3,060億円																																											
代表社員の氏名	代表社員 MGMジャパン・ホールドコ・エルピー 職務執行者 エドワード・パウワーズ																																												
代表社員住所	・アメリカ合衆国ネバダ州89118、ラスベガス、サウス・レインボー・ブルーバード6385、スイート500																																												
大阪IRにおける役割	・筆頭株主としてIR事業者の財務基盤を支持 ・大阪IRの整備・運営・維持管理等の全てを、IR事業者への役職員の派遣・出向、IR事業者との契約に基づく各分野における技術的・専門的サポートの提供等を通じて支援																																												
保有株式及び議決権割合等	・譲渡制限付き議決権付き普通株式 ・議決権割合：約41% ・出資額：約3,060億円																																												
事業実績	・MGMリゾート・インターナショナルは、世界最大のMICEデスティネーションであるラスベガスにおける最大のMICEオペレーターであり、年間宿泊需要約190万室を創出、世界各地で年間9,000以上のショー・イベントを開催。30年以上の歴史を有し、世界35ヶ所でエンターテインメント施設を運営 ・MGMリゾート・インターナショナルは、ラスベガスにおいて、大規模MICE施設を複数運営しており、中でもMandalay Bay（マンダレイ・ベイ）はラスベガス最大級の規模を有し、北米最大級のコンベンションセンターを配備																																												
財務の状況 (2021年12月期第3四半期連結累計実績)	・売上高：約66億ドル ・純利益：約11億ドル ・手元流動性：約64億ドル ※海外子会社等を除く米国本社の現金等、リボルビングクレジットの数値																																												
主要株主等基準値以上の数の議決権の保有者	議決権割合	出資金額																																											
合同会社日本MGMリゾート	約44%	約4,280億円																																											
オリックス株式会社	約44%	約4,280億円																																											
代表社員の氏名	代表社員 MGMジャパン・ホールドコ・エルピー 職務執行者 エドワード・パウワーズ																																												
代表社員住所	・アメリカ合衆国ネバダ州89118、ラスベガス、サウス・エドモンド・ストリート6770、3階																																												
大阪IRにおける役割	・筆頭株主としてIR事業者の財務基盤を支持 ・大阪IRの整備・運営・維持管理等の全てを、IR事業者への役職員の派遣・出向、IR事業者との契約に基づく各分野における技術的・専門的サポートの提供等を通じて支援																																												
保有株式及び議決権割合等	・譲渡制限付き議決権付き普通株式 ・議決権割合：約44% ・出資額：約4,280億円																																												
事業実績	・MGMリゾート・インターナショナルは、世界最大のMICEデスティネーションであるラスベガスにおける最大のMICEオペレーターであり、年間宿泊需要約190万室を創出、世界各地で年間9,000以上のショー・イベントを開催。30年以上の歴史を有し、世界35ヶ所でエンターテインメント施設を運営 ・MGMリゾート・インターナショナルは、ラスベガスにおいて、大規模MICE施設を複数運営しており、中でもMandalay Bay（マンダレイ・ベイ）はラスベガス最大級の規模を有し、北米最大級のコンベンションセンターを配備																																												
財務の状況 (2021年12月期第3四半期連結累計実績)	・売上高：約66億ドル ・純利益：約11億ドル ・手元流動性：約64億ドル ※海外子会社等を除く米国本社の現金等、リボルビングクレジットの数値																																												

NO. 様式 区域整備計画 (2025年5月9日) 区域整備計画 (2025年9月12日)

(3) オリックス株式会社

代表者の氏名	井上 亮
役員の名及び住所	・ 図表7のとおり
大阪IRにおける役割	・ 筆頭株主としてIR事業者の財務基盤を支持 ・ 大阪IRの整備・運営・維持管理等の全てを、IR事業者への役職員の派遣・出向、IR事業者との契約に基づく各分野における技術的・専門的サポートの提供等を通じて支援
保有株式及び議決権割合等	・ 譲渡制限付き議決権付き普通株式 ・ 議決権割合：約41% ・ 出資額：約3,060億円
事業実績	・ ホテル、温泉旅館、MICE施設等の開発・運営実績 ・ 関西3空港運営やグランフロント大阪（うめきた1期・2期）開発・運営といった官民連携事業の実績
財務の状況 (2022年3月期第2四半期連結累計実績)	・ 売上高：約12,415億円 ・ 純利益：約1,467億円、ROE（年換算）：9.5% ・ 手元流動性：約10,737億円 ・ S&Pグローバル・レーティング等の主要格付機関で発行体格付はA-を維持

【図表7：オリックスの役員の名及び住所】

役員の名	住所	役員の名	住所
井上 亮	【個人情報のため住所は非公開】	影浦 智子	【個人情報のため住所は非公開】
高橋 英丈	【個人情報のため住所は非公開】	渡辺 展希	【個人情報のため住所は非公開】
松崎 悟	【個人情報のため住所は非公開】	井戸 洋行	【個人情報のため住所は非公開】
スタン・コヤキ	【個人情報のため住所は非公開】	徳間 隆二郎	【個人情報のため住所は非公開】
三上 康章	【個人情報のため住所は非公開】	李 浩	【個人情報のため住所は非公開】
マイケル・クスマノ	【個人情報のため住所は非公開】	仲村 郁夫	【個人情報のため住所は非公開】
秋山 咲恵	【個人情報のため住所は非公開】	石原 知彦	【個人情報のため住所は非公開】
渡辺 博史	【個人情報のため住所は非公開】	大塚 隆司	【個人情報のため住所は非公開】
関根 愛子	【個人情報のため住所は非公開】	馬殿 太郎	【個人情報のため住所は非公開】
程 近智	【個人情報のため住所は非公開】	安 東熙	【個人情報のため住所は非公開】
柳川 範之	【個人情報のため住所は非公開】	松井 敏	【個人情報のため住所は非公開】
有田 英司	【個人情報のため住所は非公開】	佐藤 厚範	【個人情報のため住所は非公開】
三宅 誠一	【個人情報のため住所は非公開】	松岡 芳晃	【個人情報のため住所は非公開】
高橋 豊典	【個人情報のため住所は非公開】	北川 慶	【個人情報のため住所は非公開】
小寺 徹也	【個人情報のため住所は非公開】		

(3) オリックス株式会社

代表者の氏名	井上 亮
役員の名及び住所	・ 図表7のとおり
大阪IRにおける役割	・ 筆頭株主としてIR事業者の財務基盤を支持 ・ 大阪IRの整備・運営・維持管理等の全てを、IR事業者への役職員の派遣・出向、IR事業者との契約に基づく各分野における技術的・専門的サポートの提供等を通じて支援
保有株式及び議決権割合等	・ 譲渡制限付き議決権付き普通株式 ・ 議決権割合：約44% ・ 出資額：約4,280億円
事業実績	・ ホテル、温泉旅館、MICE施設等の開発・運営実績 ・ 関西3空港運営やグランフロント大阪（うめきた1期・2期）開発・運営といった官民連携事業の実績
財務の状況 (2022年3月期第2四半期連結累計実績)	・ 売上高：約12,415億円 ・ 純利益：約1,467億円、ROE（年換算）：9.5% ・ 手元流動性：約10,737億円 ・ S&Pグローバル・レーティング等の主要格付機関で発行体格付はA-を維持

【図表7：オリックスの役員の名及び住所】

役員の名	住所	役員の名	住所
井上 亮	【個人情報のため住所は非公開】	小寺 徹也	【個人情報のため住所は非公開】
高橋 英丈	【個人情報のため住所は非公開】	影浦 智子	【個人情報のため住所は非公開】
松崎 悟	【個人情報のため住所は非公開】	渡辺 展希	【個人情報のため住所は非公開】
スタン・コヤキ	【個人情報のため住所は非公開】	井戸 洋行	【個人情報のため住所は非公開】
三上 康章	【個人情報のため住所は非公開】	徳間 隆二郎	【個人情報のため住所は非公開】
渡辺 博史	【個人情報のため住所は非公開】	李 浩	【個人情報のため住所は非公開】
関根 愛子	【個人情報のため住所は非公開】	仲村 郁夫	【個人情報のため住所は非公開】
程 近智	【個人情報のため住所は非公開】	石原 知彦	【個人情報のため住所は非公開】
柳川 範之	【個人情報のため住所は非公開】	大塚 隆司	【個人情報のため住所は非公開】
柚木 真美	【個人情報のため住所は非公開】	馬殿 太郎	【個人情報のため住所は非公開】
関 美和	【個人情報のため住所は非公開】	安 東熙	【個人情報のため住所は非公開】
有田 英司	【個人情報のため住所は非公開】	佐藤 厚範	【個人情報のため住所は非公開】
三宅 誠一	【個人情報のため住所は非公開】	松岡 芳晃	【個人情報のため住所は非公開】
高橋 豊典	【個人情報のため住所は非公開】	北川 慶	【個人情報のため住所は非公開】

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）																																																																																												
20	評価基準 21	<p>① I R施設の維持管理及び設備投資の内容並びにこれらに要する費用の額</p> <p>1. I R施設の維持管理及び設備投資に要する費用の額</p> <p>事業計画に反映している運営開始以降のI R施設の維持管理及び設備投資の金額は、下表のとおり。開業3年目期において、約92億円を見込む。また、開業までに投資するI R施設の整備費は約1兆2,689億円を想定している（評価基準18を参照）。</p> <p style="text-align: center;">【図表1：維持管理及び設備投資の費用見込み】</p> <table border="1" data-bbox="454 499 1409 1381"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">(単位：億円)</th> <th style="text-align: right;">開業3年目期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">I R施設の整備を行うための資本的支出</td> <td style="text-align: right;">27</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">経常修繕・大規模修繕・ 施設建替え</td> <td>カジノ施設</td> <td style="text-align: right;">3</td> </tr> <tr> <td>1号：国際会議場施設</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>2号：展示等施設</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>3号：魅力増進施設</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>4号：送客施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>5号：宿泊施設</td> <td style="text-align: right;">8</td> </tr> <tr> <td>6号：来訪及び滞在寄与施設</td> <td style="text-align: right;">13</td> </tr> <tr> <td>事業共通施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">収益的支出（施設関連）</td> <td style="text-align: right;">65</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">施設の修理・維持管理・ 保守関連費用等</td> <td>カジノ施設</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td>1号：国際会議場施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>2号：展示等施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>3号：魅力増進施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>4号：送客施設</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>5号：宿泊施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>6号：来訪及び滞在寄与施設</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>事業共通施設</td> <td style="text-align: right;">61</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計（資本的支出+収益的支出）</td> <td style="text-align: right;">92</td> </tr> </tbody> </table>	(単位：億円)		開業3年目期	I R施設の整備を行うための資本的支出		27	経常修繕・大規模修繕・ 施設建替え	カジノ施設	3	1号：国際会議場施設	1	2号：展示等施設	1	3号：魅力増進施設	1	4号：送客施設	0	5号：宿泊施設	8	6号：来訪及び滞在寄与施設	13	事業共通施設	0	収益的支出（施設関連）		65	施設の修理・維持管理・ 保守関連費用等	カジノ施設	2	1号：国際会議場施設	0	2号：展示等施設	0	3号：魅力増進施設	0	4号：送客施設	-	5号：宿泊施設	0	6号：来訪及び滞在寄与施設	1	事業共通施設	61	合計（資本的支出+収益的支出）		92	<p>① I R施設の維持管理及び設備投資の内容並びにこれらに要する費用の額</p> <p>1. I R施設の維持管理及び設備投資に要する費用の額</p> <p>事業計画に反映している運営開始以降のI R施設の維持管理及び設備投資の金額は、下表のとおり。開業3年目期において、約94億円を見込む。また、開業までに投資するI R施設の整備費は約1兆5,130億円を想定している（評価基準18を参照）。</p> <p style="text-align: center;">【図表1：維持管理及び設備投資の費用見込み】</p> <table border="1" data-bbox="1706 499 2662 1381"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">(単位：億円)</th> <th style="text-align: right;">開業3年目期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">I R施設の整備を行うための資本的支出</td> <td style="text-align: right;">40</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">経常修繕・大規模修繕・ 施設建替え</td> <td>カジノ施設</td> <td style="text-align: right;">4</td> </tr> <tr> <td>1号：国際会議場施設</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td>2号：展示等施設</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>3号：魅力増進施設</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>4号：送客施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>5号：宿泊施設</td> <td style="text-align: right;">12</td> </tr> <tr> <td>6号：来訪及び滞在寄与施設</td> <td style="text-align: right;">18</td> </tr> <tr> <td>事業共通施設</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">収益的支出（施設関連）</td> <td style="text-align: right;">54</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">施設の修理・維持管理・ 保守関連費用等</td> <td>カジノ施設</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td>1号：国際会議場施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>2号：展示等施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>3号：魅力増進施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>4号：送客施設</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>5号：宿泊施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>6号：来訪及び滞在寄与施設</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>事業共通施設</td> <td style="text-align: right;">51</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計（資本的支出+収益的支出）</td> <td style="text-align: right;">94</td> </tr> </tbody> </table>	(単位：億円)		開業3年目期	I R施設の整備を行うための資本的支出		40	経常修繕・大規模修繕・ 施設建替え	カジノ施設	4	1号：国際会議場施設	2	2号：展示等施設	1	3号：魅力増進施設	1	4号：送客施設	0	5号：宿泊施設	12	6号：来訪及び滞在寄与施設	18	事業共通施設	2	収益的支出（施設関連）		54	施設の修理・維持管理・ 保守関連費用等	カジノ施設	2	1号：国際会議場施設	0	2号：展示等施設	0	3号：魅力増進施設	0	4号：送客施設	-	5号：宿泊施設	0	6号：来訪及び滞在寄与施設	1	事業共通施設	51	合計（資本的支出+収益的支出）		94
(単位：億円)		開業3年目期																																																																																													
I R施設の整備を行うための資本的支出		27																																																																																													
経常修繕・大規模修繕・ 施設建替え	カジノ施設	3																																																																																													
	1号：国際会議場施設	1																																																																																													
	2号：展示等施設	1																																																																																													
	3号：魅力増進施設	1																																																																																													
	4号：送客施設	0																																																																																													
	5号：宿泊施設	8																																																																																													
	6号：来訪及び滞在寄与施設	13																																																																																													
	事業共通施設	0																																																																																													
収益的支出（施設関連）		65																																																																																													
施設の修理・維持管理・ 保守関連費用等	カジノ施設	2																																																																																													
	1号：国際会議場施設	0																																																																																													
	2号：展示等施設	0																																																																																													
	3号：魅力増進施設	0																																																																																													
	4号：送客施設	-																																																																																													
	5号：宿泊施設	0																																																																																													
	6号：来訪及び滞在寄与施設	1																																																																																													
	事業共通施設	61																																																																																													
合計（資本的支出+収益的支出）		92																																																																																													
(単位：億円)		開業3年目期																																																																																													
I R施設の整備を行うための資本的支出		40																																																																																													
経常修繕・大規模修繕・ 施設建替え	カジノ施設	4																																																																																													
	1号：国際会議場施設	2																																																																																													
	2号：展示等施設	1																																																																																													
	3号：魅力増進施設	1																																																																																													
	4号：送客施設	0																																																																																													
	5号：宿泊施設	12																																																																																													
	6号：来訪及び滞在寄与施設	18																																																																																													
	事業共通施設	2																																																																																													
収益的支出（施設関連）		54																																																																																													
施設の修理・維持管理・ 保守関連費用等	カジノ施設	2																																																																																													
	1号：国際会議場施設	0																																																																																													
	2号：展示等施設	0																																																																																													
	3号：魅力増進施設	0																																																																																													
	4号：送客施設	-																																																																																													
	5号：宿泊施設	0																																																																																													
	6号：来訪及び滞在寄与施設	1																																																																																													
	事業共通施設	51																																																																																													
合計（資本的支出+収益的支出）		94																																																																																													
21	評価基準 21	<p>② 収支計画及び資金計画</p> <p>1. 収支計画</p> <p>(1) 収支計画の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定区域整備計画第8期（2031年3月期）に開業を想定。 開業3年目期のI R事業全体の売上高は約5,200億円、当期純利益は約850億円を見込む。 カジノ部門が収益の約8割を占める。 主な営業費用は、カジノ部門では納付金及び人件費、非カジノ部門では人件費となっている。 <p>(2) 財政状況（資産・負債）の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 中核株主に加え、中核株主以外の少数株主の出資により、事業期間を通じて安定的な財務状況が維持される見込み。 	<p>② 収支計画及び資金計画</p> <p>1. 収支計画</p> <p>(1) 収支計画の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定区域整備計画第8期（2031年3月期）に開業を想定。 開業3年目期のI R事業全体の売上高は約5,200億円、当期純利益は約670億円を見込む。 カジノ部門が収益の約8割を占める。 主な営業費用は、カジノ部門では納付金及び人件費、非カジノ部門では人件費となっている。 <p>(2) 財政状況（資産・負債）の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 中核株主に加え、中核株主以外の少数株主の出資により、事業期間を通じて安定的な財務状況が維持される見込み。 																																																																																												

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）
		<p>・また、開業3年期末の自己資本比率は約60%となる見込み。</p> <p>(3) 予定損益の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 開業3年目においては、カジノ事業からの収益は約4,200億円（全体収益の80%程度）、非カジノ事業からの収益は約1,000億円（全体収益の20%程度）を見込む。 カジノ事業の売上高の前提となるカジノ施設来訪者数は、国内人口、国内旅行者数、訪日外国人旅行者数等の直近の推移、先行する海外IRにおける集客実績等を踏まえて試算した結果、開業3年目日に年間約1,610万人を見込む。 非カジノ事業については、カジノ施設以外の中核施設やコンテンツ更新、開発への再投資等により、漸進的・段階的な収益の増加をめざす。 <p>(4) 予定キャッシュ・フローの見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設期間は、建設コスト及び開業準備費の支出を株主からの出資及び金融機関からの借入で調達。 運営開始後は、営業キャッシュ・フローが黒字化する開業2年目期から金融機関に対する借入返済を本格化。 開業2年目期に営業キャッシュ・フロー及びフリーキャッシュ・フローが黒字化。事業から創出したキャッシュは、金融機関からの借入の返済に充てると同時に、IR施設の経常修繕・大規模修繕、コンテンツ更新・開発等への投資を行うことを想定。 <p>2. 資金計画</p> <p>(1) 資金調達計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 資金調達総額は約1兆2,700億円^{※1}であり、株主による出資（自己資本）により約7,400億円（約58%）、金融機関からの借入により約5,300億円（約42%）^{※2}を調達する想定^{※3}。 ※1 資金調達総額は消費税（控除対象外消費税を除く。）を含まない。 ※2 金融機関からの借入金額は消費税ローン及び運転資金用コミットメントラインを含まない。 ※3 出資と借入の資金調達額の内訳は、資金調達環境の影響や金融機関の融資方針等により、今後変更の可能性がある。 <p>【図表2：資金調達計画の概要】</p> 	<p>・また、開業3年期末の自己資本比率は約70%となる見込み。</p> <p>(3) 予定損益の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 開業3年目においては、カジノ事業からの収益は約4,200億円（全体収益の80%程度）、非カジノ事業からの収益は約1,000億円（全体収益の20%程度）を見込む。 カジノ事業の売上高の前提となるカジノ施設来訪者数は、国内人口、国内旅行者数、訪日外国人旅行者数等の直近の推移、先行する海外IRにおける集客実績等を踏まえて試算した結果、開業3年目日に年間約1,610万人を見込む。 非カジノ事業については、カジノ施設以外の中核施設やコンテンツ更新、開発への再投資等により、漸進的・段階的な収益の増加をめざす。 <p>(4) 予定キャッシュ・フローの見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設期間は、建設コスト及び開業準備費の支出を株主からの出資及び金融機関からの借入で調達。 運営開始後は、営業キャッシュ・フローが黒字化する開業1年目期の翌年度から金融機関に対する借入返済を本格化。 開業1年目期に営業キャッシュ・フロー及びフリーキャッシュ・フローが黒字化。事業から創出したキャッシュは、金融機関からの借入の返済に充てると同時に、IR施設の経常修繕・大規模修繕、コンテンツ更新・開発等への投資を行うことを想定。 <p>2. 資金計画</p> <p>(1) 資金調達計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 資金調達総額は約1兆5,130億円^{※1}であり、株主による出資（自己資本）により約9,830億円（約65%）、金融機関からの借入により約5,300億円（約35%）^{※2}を調達する想定^{※3}。 ※1 資金調達総額は消費税（控除対象外消費税を除く。）を含まない。 ※2 金融機関からの借入金額は消費税ローン及び運転資金用コミットメントラインを含まない。 ※3 出資と借入の資金調達額の内訳は、資金調達環境の影響や金融機関の融資方針等により、今後変更の可能性がある。 <p>【図表2：資金調達計画の概要】</p> 

NO.	様式	区域整備計画 (2025年5月9日)	区域整備計画 (2025年9月12日)																																																																																												
		<p>(2) 資金調達の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 資金調達の内訳は、下表のとおり。 中核株主である合同会社日本MGMリゾート^{*1}及びオリックス株式会社のほか、関西企業を中心とする中核株主以外の複数の少数株主^{*2}による出資に加え、Mandated Lead Arranger (主幹事行) となる株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーションに参加する複数の金融機関からのプロジェクトファイナンス (シニアローン) での借入により資金調達を行う予定。 ※1 合同会社日本MGMリゾートは、MGMリゾート・インターナショナルの完全子会社である。 ※2 各少数株主の議決権割合は5%未満であり、認可主要株主には該当しない。 <p style="text-align: center;">【図表3：資金調達の内訳】</p> <table border="1" data-bbox="388 579 1501 1209"> <thead> <tr> <th colspan="2">資金の内訳及び調達方法</th> <th>種類</th> <th>金額</th> <th>調達割合</th> <th>資金提供者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">自己資本</td> <td rowspan="3">資本金</td> <td rowspan="3">普通株式</td> <td>約 3,060 億円</td> <td>約 24%</td> <td>合同会社日本MGMリゾート</td> </tr> <tr> <td>約 3,060 億円</td> <td>約 24%</td> <td>オリックス株式会社</td> </tr> <tr> <td>約 1,270 億円</td> <td>約 10%</td> <td>中核株主以外の少数株主全体</td> </tr> <tr> <td colspan="2">自己資本合計</td> <td>約 7,400 億円</td> <td>約 58%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">他人資本</td> <td>借入金</td> <td>シニアローン</td> <td>約 5,300 億円</td> <td>約 42%</td> <td>株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関</td> </tr> <tr> <td colspan="2">他人資本合計</td> <td>約 5,300 億円</td> <td>約 42%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">資金調達総額・割合</td> <td>約 1兆 2,700 億円</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)</td> <td>約 1兆 2,700 億円</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・上記のほか、開発期間にかかる消費税については、消費税還付金を返済原資とする消費税ローンを金融機関より調達する予定。</p> <p>・さらに、季節要因等による一時的な運転資金の増加、感染症の大流行等の緊急事態等に対して資金繰りの柔軟性を確保するため、金融機関より運転資金用コミットメントラインの設定を受ける予定。</p> <p>(3) 資金調達方法及び資金抛出の蓋然性</p> <p>c. 中核株主以外の少数株主</p> <ul style="list-style-type: none"> 中核株主以外の少数株主による出資金額の調達は、各少数株主の手元資金又は借入により行う。 関西企業を中心とする複数の少数株主と、IR事業者の資本金の約17%に相当する株式引受契約を締結している。 	資金の内訳及び調達方法		種類	金額	調達割合	資金提供者	自己資本	資本金	普通株式	約 3,060 億円	約 24%	合同会社日本MGMリゾート	約 3,060 億円	約 24%	オリックス株式会社	約 1,270 億円	約 10%	中核株主以外の少数株主全体	自己資本合計		約 7,400 億円	約 58%		他人資本	借入金	シニアローン	約 5,300 億円	約 42%	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関	他人資本合計		約 5,300 億円	約 42%		資金調達総額・割合			約 1兆 2,700 億円	100%		(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)			約 1兆 2,700 億円	100%		<p>(2) 資金調達の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 資金調達の内訳は、下表のとおり。 中核株主である合同会社日本MGMリゾート^{*1}及びオリックス株式会社のほか、関西企業を中心とする中核株主以外の複数の少数株主^{*2}による出資に加え、Mandated Lead Arranger (主幹事行) となる株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーションに参加する複数の金融機関からのプロジェクトファイナンス (シニアローン) での借入により資金調達を行う予定。 ※1 合同会社日本MGMリゾートは、MGMリゾート・インターナショナルの完全子会社である。 ※2 各少数株主の議決権割合は5%未満であり、認可主要株主には該当しない。 <p style="text-align: center;">【図表3：資金調達の内訳】</p> <table border="1" data-bbox="1638 579 2751 1209"> <thead> <tr> <th colspan="2">資金の内訳及び調達方法</th> <th>種類</th> <th>金額</th> <th>調達割合</th> <th>資金提供者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">自己資本</td> <td rowspan="3">資本金</td> <td rowspan="3">普通株式</td> <td>約 4,280 億円</td> <td>約 28%</td> <td>合同会社日本MGMリゾート</td> </tr> <tr> <td>約 4,280 億円</td> <td>約 28%</td> <td>オリックス株式会社</td> </tr> <tr> <td>約 1,270 億円</td> <td>約 8%</td> <td>中核株主以外の少数株主全体</td> </tr> <tr> <td colspan="2">自己資本合計</td> <td>約 9,830 億円</td> <td>約 65%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">他人資本</td> <td>借入金</td> <td>シニアローン</td> <td>約 5,300 億円</td> <td>約 35%</td> <td>株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関</td> </tr> <tr> <td colspan="2">他人資本合計</td> <td>約 5,300 億円</td> <td>約 35%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">資金調達総額・割合</td> <td>約 1兆 5,130 億円</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)</td> <td>約 1兆 5,130 億円</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・上記のほか、開発期間にかかる消費税については、消費税還付金を返済原資とする消費税ローンを金融機関より調達する予定。</p> <p>・さらに、季節要因等による一時的な運転資金の増加、感染症の大流行等の緊急事態等に対して資金繰りの柔軟性を確保するため、金融機関より運転資金用コミットメントラインの設定を受ける予定。</p> <p>(3) 資金調達方法及び資金抛出の蓋然性</p> <p>c. 中核株主以外の少数株主</p> <ul style="list-style-type: none"> 中核株主以外の少数株主による出資金額の調達は、各少数株主の手元資金又は借入により行う。 関西企業を中心とする複数の少数株主と、IR事業者の資本金の約13%に相当する株式引受契約を締結している。 	資金の内訳及び調達方法		種類	金額	調達割合	資金提供者	自己資本	資本金	普通株式	約 4,280 億円	約 28%	合同会社日本MGMリゾート	約 4,280 億円	約 28%	オリックス株式会社	約 1,270 億円	約 8%	中核株主以外の少数株主全体	自己資本合計		約 9,830 億円	約 65%		他人資本	借入金	シニアローン	約 5,300 億円	約 35%	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関	他人資本合計		約 5,300 億円	約 35%		資金調達総額・割合			約 1兆 5,130 億円	100%		(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)			約 1兆 5,130 億円	100%	
資金の内訳及び調達方法		種類	金額	調達割合	資金提供者																																																																																										
自己資本	資本金	普通株式	約 3,060 億円	約 24%	合同会社日本MGMリゾート																																																																																										
			約 3,060 億円	約 24%	オリックス株式会社																																																																																										
			約 1,270 億円	約 10%	中核株主以外の少数株主全体																																																																																										
	自己資本合計		約 7,400 億円	約 58%																																																																																											
他人資本	借入金	シニアローン	約 5,300 億円	約 42%	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関																																																																																										
	他人資本合計		約 5,300 億円	約 42%																																																																																											
資金調達総額・割合			約 1兆 2,700 億円	100%																																																																																											
(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)			約 1兆 2,700 億円	100%																																																																																											
資金の内訳及び調達方法		種類	金額	調達割合	資金提供者																																																																																										
自己資本	資本金	普通株式	約 4,280 億円	約 28%	合同会社日本MGMリゾート																																																																																										
			約 4,280 億円	約 28%	オリックス株式会社																																																																																										
			約 1,270 億円	約 8%	中核株主以外の少数株主全体																																																																																										
	自己資本合計		約 9,830 億円	約 65%																																																																																											
他人資本	借入金	シニアローン	約 5,300 億円	約 35%	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関																																																																																										
	他人資本合計		約 5,300 億円	約 35%																																																																																											
資金調達総額・割合			約 1兆 5,130 億円	100%																																																																																											
(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)			約 1兆 5,130 億円	100%																																																																																											

22 評価基準 24

① カジノ事業の収益等を活用したIR事業の事業内容の向上

1. IR施設の整備等 (資本的支出)

(1) IR施設の整備

IR施設の開業までに投資を予定しているIR施設の整備に係る費用は下表のとおり。

【図表1: IR施設の整備費用】 (単位: 億円)

項目名	初期投資額 (消費税抜)
1. 建設関連投資	9,545
(1) 建築物整備費	7,988
① 建築工事費	7,221
カジノ施設	537
1号: 国際会議場施設	298
2号: 展示等施設	278
3号: 魅力増進施設	119
4号: 送客施設	11
5号: 宿泊施設	2,465
6号: 来訪及び滞在寄与施設	3,513
② 建築関連費用	767
(2) その他建築関連投資	1,557
2. その他初期投資額	3,144
初期投資総額 (=1. +2.)	12,689

(2) IR施設・設備等への再投資

IR施設の開業後に予定しているIR施設、各種設備、コンテンツ等の修繕・更新等に係る再投資費用 (資本的支出) は以下のとおり。

【図表2: IR施設・設備等の修繕・更新等費用 (開業3年目期)】 (単位: 億円)

項目名	費用
IR施設の整備を行うための資本的支出	27
経常修繕・大規模修繕・施設建替え	
カジノ施設	3
1号: 国際会議場施設	1
2号: 展示等施設	1
3号: 魅力増進施設	1
4号: 送客施設	0
5号: 宿泊施設	8
6号: 来訪及び滞在寄与施設	13
事業共通施設	0

a. MICE施設 (国際会議場施設及び展示等施設) 【費用の見込み: 約2億円/年】

- 国際会議場施設と展示等施設は、オールインワンMICE施設として幅広く来訪者を呼び込む魅力的な国際観光拠点であり続けること、また、催事のオンライン化やバーチャル化への対応も見

① カジノ事業の収益等を活用したIR事業の事業内容の向上

1. IR施設の整備等 (資本的支出)

(1) IR施設の整備

IR施設の開業までに投資を予定しているIR施設の整備に係る費用は下表のとおり。

【図表1: IR施設の整備費用】 (単位: 億円)

項目名	初期投資額 (消費税抜)
1. 建設関連投資	11,951
(1) 建築物整備費	11,285
① 建築工事費	10,436
カジノ施設	776
1号: 国際会議場施設	493
2号: 展示等施設	339
3号: 魅力増進施設	172
4号: 送客施設	17
5号: 宿泊施設	3,562
6号: 来訪及び滞在寄与施設	5,077
② 建築関連費用	849
(2) その他建築関連投資	665
2. その他初期投資額	3,179
初期投資総額 (=1. +2.)	15,130

(2) IR施設・設備等への再投資

IR施設の開業後に予定しているIR施設、各種設備、コンテンツ等の修繕・更新等に係る再投資費用 (資本的支出) は以下のとおり。

【図表2: IR施設・設備等の修繕・更新等費用 (開業3年目期)】 (単位: 億円)

項目名	費用
IR施設の整備を行うための資本的支出	40
経常修繕・大規模修繕・施設建替え	
カジノ施設	4
1号: 国際会議場施設	2
2号: 展示等施設	1
3号: 魅力増進施設	1
4号: 送客施設	0
5号: 宿泊施設	12
6号: 来訪及び滞在寄与施設	18
事業共通施設	2

a. MICE施設 (国際会議場施設及び展示等施設) 【費用の見込み: 約3億円/年】

- 国際会議場施設と展示等施設は、オールインワンMICE施設として幅広く来訪者を呼び込む魅力的な国際観光拠点であり続けること、また、催事のオンライン化やバーチャル化への対応も見

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）
		<p>据え、ITインフラやネット環境等について大容量通信への対応や通信設備の強化を図る等、時勢に応じ最先端で高利便な設備・機能を備えていくことが必要であり、経常的な施設の修繕に加えて、設備更新を含む様々な再投資を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的には、施設空間や各種設備の修繕・更新等、内装、各種備品及びデジタルコンテンツ等の更新等を想定する。 <p>b. 魅力増進施設【費用の見込み：約1億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各魅力増進施設（ガーデンシアター、三道体験スタジオ、ジャパン・フードパビリオン、関西ジャパンハウス、関西アート&カルチャーミュージアム）が有する魅力及び機能を維持・向上し、継続的に日本の魅力の発信並びに大阪IRへの来訪及び滞在促進を図るため、施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、舞台等における演出装置及び客席設備等の鑑賞空間や飲食・物販等施設の修繕・更新等を想定する。 <p>c. 送客施設【費用の見込み：約0.1億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショーケース機能、コンシェルジュ機能及び交通機能（バスターミナル及びフェリーターミナル）から構成される送客施設は、大阪IRを訪れる来訪者を最初に迎え入れる施設となり、大阪・関西の魅力発信するショーケースでもあることから、来訪者を誘引できる魅力と新規性の維持が図られるよう、施設及びコンテンツへの再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、施設の外観及び内装の修繕・更新等、設備機能やショーケース機能の更新等を想定する。 <p>d. 宿泊施設【費用の見込み：約8億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設は、大阪IRの施設の中でも最大規模のスケールを誇るとともに、多様な来訪者が滞在する拠点として、様々な付帯サービスを提供することから、客室や共用施設を含めて宿泊施設全体の魅力が維持できるよう、施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、宿泊施設客室の内装及び設備、共用施設等の修繕・更新等を想定する。 <p>e. 来訪及び滞在寄与施設【費用の見込み：約13億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンターテイメント施設、飲食施設、物販施設等は、驚きや感動に満ちた滞在体験を常に提供し、来訪者の滞在環境の向上が図られるよう、非日常のリゾート空間を創出する演出効果への投資を含め、施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、エンターテイメント施設、飲食施設及び物販施設等の修繕・更新等を想定する。 ・エネルギーセンター、屋外駐車場、「結びの庭」、公園・緑地、大阪IR全体を包括するITシステム等の事業共通施設等については、来訪者が快適にIR区域及び各IR施設に滞在し、各IR施設の魅力や機能を維持・補完・増強するために欠かせない施設であり、その機能が確実に維持されるよう経常的に施設及び設備等への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、エネルギーセンターにおける省エネルギー化及び環境配慮のための設備の修繕・更新等、「結びの庭」及び公園における広場・緑地・水景等の修繕・更新等、大阪IRの全体イベントのための音響設備・IT設備等の更新等を想定する。 <p>f. カジノ施設【費用の見込み：約3億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノ施設では、快適な空間を維持するとともに、来訪者が常に健全にカジノ行為を楽しめるよう、また、日本国内、マカオ、シンガポール等周辺地域のカジノ施設との競争力が維持できるよう、継続的に施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、カジノ施設やカジノ関連機器の修繕・更新等、新しいテクノロジーの導入等を想定する。 	<p>据え、ITインフラやネット環境等について大容量通信への対応や通信設備の強化を図る等、時勢に応じ最先端で高利便な設備・機能を備えていくことが必要であり、経常的な施設の修繕に加えて、設備更新を含む様々な再投資を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的には、施設空間や各種設備の修繕・更新等、内装、各種備品及びデジタルコンテンツ等の更新等を想定する。 <p>b. 魅力増進施設【費用の見込み：約1億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各魅力増進施設（ガーデンシアター、三道体験スタジオ、ジャパン・フードパビリオン、関西ジャパンハウス、関西アート&カルチャーミュージアム）が有する魅力及び機能を維持・向上し、継続的に日本の魅力の発信並びに大阪IRへの来訪及び滞在促進を図るため、施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、舞台等における演出装置及び客席設備等の鑑賞空間や飲食・物販等施設の修繕・更新等を想定する。 <p>c. 送客施設【費用の見込み：約0.1億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショーケース機能、コンシェルジュ機能及び交通機能（バスターミナル及びフェリーターミナル）から構成される送客施設は、大阪IRを訪れる来訪者を最初に迎え入れる施設となり、大阪・関西の魅力発信するショーケースでもあることから、来訪者を誘引できる魅力と新規性の維持が図られるよう、施設及びコンテンツへの再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、施設の外観及び内装の修繕・更新等、設備機能やショーケース機能の更新等を想定する。 <p>d. 宿泊施設【費用の見込み：約12億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設は、大阪IRの施設の中でも最大規模のスケールを誇るとともに、多様な来訪者が滞在する拠点として、様々な付帯サービスを提供することから、客室や共用施設を含めて宿泊施設全体の魅力が維持できるよう、施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、宿泊施設客室の内装及び設備、共用施設等の修繕・更新等を想定する。 <p>e. 来訪及び滞在寄与施設【費用の見込み：約18億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンターテイメント施設、飲食施設、物販施設等は、驚きや感動に満ちた滞在体験を常に提供し、来訪者の滞在環境の向上が図られるよう、非日常のリゾート空間を創出する演出効果への投資を含め、施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、エンターテイメント施設、飲食施設及び物販施設等の修繕・更新等を想定する。 ・エネルギーセンター、屋外駐車場、「結びの庭」、公園・緑地、大阪IR全体を包括するITシステム等の事業共通施設等については、来訪者が快適にIR区域及び各IR施設に滞在し、各IR施設の魅力や機能を維持・補完・増強するために欠かせない施設であり、その機能が確実に維持されるよう経常的に施設及び設備等への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、エネルギーセンターにおける省エネルギー化及び環境配慮のための設備の修繕・更新等、「結びの庭」及び公園における広場・緑地・水景等の修繕・更新等、大阪IRの全体イベントのための音響設備・IT設備等の更新等を想定する。 <p>f. カジノ施設【費用の見込み：約4億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノ施設では、快適な空間を維持するとともに、来訪者が常に健全にカジノ行為を楽しめるよう、また、日本国内、マカオ、シンガポール等周辺地域のカジノ施設との競争力が維持できるよう、継続的に施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、カジノ施設やカジノ関連機器の修繕・更新等、新しいテクノロジーの導入等を想定する。

NO.	様式	区域整備計画（2025年5月9日）	区域整備計画（2025年9月12日）																																														
		<p>2. I R施設の維持管理 I R施設の開業後に予定しているI R施設、各種設備、コンテンツ等の修理・維持管理・保守関連等に係る再投資費用（収益的支出）は下表のとおり。</p> <p style="text-align: center;">【図表3：I R施設の維持管理費（開業3年目）】 (単位：億円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">項目名</th> <th style="text-align: center;">費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">収益的支出（施設関連）</td> <td style="text-align: right;">65</td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="width: 15%;">施設の修理・維持管理・保守関連費用等</td> <td>カジノ施設</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td>1号：国際会議場施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>2号：展示等施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>3号：魅力増進施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>4号：送客施設</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>5号：宿泊施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>6号：来訪及び滞在寄与施設</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>事業共通施設</td> <td style="text-align: right;">61</td> </tr> </tbody> </table>	項目名		費用	収益的支出（施設関連）		65	施設の修理・維持管理・保守関連費用等	カジノ施設	2	1号：国際会議場施設	0	2号：展示等施設	0	3号：魅力増進施設	0	4号：送客施設	-	5号：宿泊施設	0	6号：来訪及び滞在寄与施設	1	事業共通施設	61	<p>2. I R施設の維持管理 I R施設の開業後に予定しているI R施設、各種設備、コンテンツ等の修理・維持管理・保守関連等に係る再投資費用（収益的支出）は下表のとおり。</p> <p style="text-align: center;">【図表3：I R施設の維持管理費（開業3年目）】 (単位：億円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">項目名</th> <th style="text-align: center;">費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">収益的支出（施設関連）</td> <td style="text-align: right;">54</td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="width: 15%;">施設の修理・維持管理・保守関連費用等</td> <td>カジノ施設</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td>1号：国際会議場施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>2号：展示等施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>3号：魅力増進施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>4号：送客施設</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>5号：宿泊施設</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>6号：来訪及び滞在寄与施設</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>事業共通施設</td> <td style="text-align: right;">51</td> </tr> </tbody> </table>	項目名		費用	収益的支出（施設関連）		54	施設の修理・維持管理・保守関連費用等	カジノ施設	2	1号：国際会議場施設	0	2号：展示等施設	0	3号：魅力増進施設	0	4号：送客施設	-	5号：宿泊施設	0	6号：来訪及び滞在寄与施設	1	事業共通施設	51
項目名		費用																																															
収益的支出（施設関連）		65																																															
施設の修理・維持管理・保守関連費用等	カジノ施設	2																																															
	1号：国際会議場施設	0																																															
	2号：展示等施設	0																																															
	3号：魅力増進施設	0																																															
	4号：送客施設	-																																															
	5号：宿泊施設	0																																															
	6号：来訪及び滞在寄与施設	1																																															
	事業共通施設	61																																															
項目名		費用																																															
収益的支出（施設関連）		54																																															
施設の修理・維持管理・保守関連費用等	カジノ施設	2																																															
	1号：国際会議場施設	0																																															
	2号：展示等施設	0																																															
	3号：魅力増進施設	0																																															
	4号：送客施設	-																																															
	5号：宿泊施設	0																																															
	6号：来訪及び滞在寄与施設	1																																															
	事業共通施設	51																																															
23	評価基準 24	<p>③ 収支計画及び資金計画との整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> 開業までに投資するI R施設の整備費は約1兆2,689億円であり、開業後のカジノ事業の収益を還元しながら、投資を回収していくこととなる。 上記の開業までに投資するI R施設の整備費のほかに、開業後のカジノ事業の収益等の活用として、I R施設の修繕・改修・更新等、運営・維持管理、I R施設において提供するコンテンツの更新・追加、カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除のための措置等に還元する予定である。これら開業後のカジノ収益の活用金額は、開業3年目において、カジノ事業からの収益から租税（納付金を含む。）及び元利支払いを除いた金額の約10%に相当する年間約150億円程度を想定している。 上記①②に記載したカジノ事業の収益の活用にかかる費用の見込み額は、収支計画及び資金計画に整合的に反映している。（評価基準21参照） 	<p>③ 収支計画及び資金計画との整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> 開業までに投資するI R施設の整備費は約1兆5,130億円であり、開業後のカジノ事業の収益を還元しながら、投資を回収していくこととなる。 上記の開業までに投資するI R施設の整備費のほかに、開業後のカジノ事業の収益等の活用として、I R施設の修繕・改修・更新等、運営・維持管理、I R施設において提供するコンテンツの更新・追加、カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除のための措置等に還元する予定である。これら開業後のカジノ収益の活用金額は、開業3年目において、カジノ事業からの収益から租税（納付金を含む。）及び元利支払いを除いた金額の約10%に相当する年間約150億円程度を想定している。 上記①②に記載したカジノ事業の収益の活用にかかる費用の見込み額は、収支計画及び資金計画に整合的に反映している。（評価基準21参照） 																																														